



APOLLO[™] MS-RA770

操作マニュアル

© 2019 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、ANT®、Fusion®、および Fusion ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。Apollo™、Connect IQ™、Fusion-Link™、Fusion-Link Lite™、および Fusion PartyBus™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Apple®、AirPlay®、iPhone®、および iPod touch®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。App StoreSMは米国およびその他の国における Apple Inc.のサービスマークです。Android™および Google Play™Google Inc.の商標です。BLUETOOTH®ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.が所有しており、Garmin はライセンスに基づきこのマークを使用しています。NMEA 2000®、および NMEA 2000 ロゴは、National Marine Electronics Association の登録商標です。SiriusXM®、SportsFlash™、TuneMix™、TuneStart™およびすべての関連マークおよびロゴは Sirius XM Radio Inc.の商標です。All rights reserved.Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。その他の商標および商標名はそれぞれの所有者の所有物です。

M/N : A03408

目次

はじめに.....	1
ステレオのコントロール.....	1
再生コントロール.....	2
ジェスチャー画面.....	4
テキストの入力.....	4
ダイヤルを使用したアイテムの選 択.....	4
ステレオ画面.....	4
ステータスアイコン.....	5
デバイスの名前指定.....	5
ホームゾーンの設定.....	5
ソースを選択する.....	5
バックライトとダイヤルの輝度を調整す る.....	5
オーディオコントロール.....	6
音量を調整する.....	6
接続したすべてのステレオをミュート する.....	6
サブウーファーレベルを調整する.....	6
トーンを調整する.....	6
ゾーンの大音量設定を無効にする.....	6
補助デバイスのゲインを調整する.....	7
スピーカーゾーン.....	7
DSP 設定.....	7
DSP 設定を構成する.....	7
速度に基づく自動音量調整.....	8
メディアプレーヤー接続.....	8
Bluetooth デバイスの再生.....	8
対応する Bluetooth デバイスを接続す る.....	9
Bluetooth 範囲の情報.....	9
別の Bluetooth デバイスの選択.....	9
Bluetooth ソースメニューと設定.....	10
Bluetooth 自動接続を無効にする.....	10
USB デバイスの再生.....	11
USB デバイスの互換性.....	11
USB デバイスを接続する.....	11
USB フラッシュドライブ、メディアプレ ーヤーで音楽再生を制御する.....	12
接続した Android デバイスで音楽再生を 制御する.....	12

接続した Apple デバイスで音楽再生を制 御する.....	12
USB ソース設定.....	12

ラジオ.....	13
チューナーの地域を設定する.....	13
ラジオ局の変更.....	13
Apple AirPlay.....	13
Apple を使用した AirPlay デバイスの接 続.....	13
AirPlay パスワードを設定する.....	14
UPnP の再生.....	14
UPnP 対応デバイスを接続する.....	14
補助デバイスを接続する.....	14
光オーディオ接続.....	14
SiriusXM 衛星ラジオ.....	14
SiriusXM ソースのチューナーの地域を 設定する.....	15
SiriusXM ラジオ ID を確認する.....	15
SiriusXM サブスクリプションの有効 化.....	15
カテゴリーを選択する.....	15
再生モードを使用する.....	15
アラート.....	16
アーティストまたは曲のアラートを追 加する.....	16
ゲームアラートのチームを追加す る.....	16
チームをライブゲームから追加す る.....	16
アクティブアラートを表示する.....	16
アラートを管理する.....	17
TuneMix™ 機能.....	17
TuneMix コレクションを開始および停 止する.....	17
TuneMix コレクションを作成およびカ スタマイズする.....	17
SportsFlash 機能.....	18
SportsFlash アラートを受信するチー ムを追加する.....	18
SportsFlash 優先チームを変更す る.....	18
TuneStart™ 機能を有効にする.....	18

ペアレンタルコントロール	18	ゾーンを無効にする	28
ペアレンタルコントロールをロック解除する	19	ゾーン名を設定する	28
チャンネルをロックする	19	ゾーンをリンクする	28
ロックされているすべてのチャンネルをクリアする	19	ゾーン 3 または 4 の音量調節を接続されたアンプからできるようにする ...	28
ペアレンタルコントロールのパスコードを変更する	19	サブウーファーフィルタを調整する	29
SiriusXM のトラブルシューティング ..	20	ゾーンの追加のオーディオ設定を調整する	29
SiriusXM データを消去する	21	電源オプション	29
DAB の再生	21	ソースの設定	30
チューナーの地域を設定する	21	ネットワークの設定	30
DAB 放送局のスキャン	21	Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントに接続する	30
DAB 放送局の変更	21	Wi-Fi Protected Setup を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続	30
DAB 放送局をリストから選択する ..	21	Apple ワイヤレスアクセサリ構成を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続	31
DAB 放送局をカテゴリから選択する	22	Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する	31
プリセット	22	ワイヤレスアクセスポイントの設定	32
放送局またはチャンネルをプリセットとして保存する	22	高度なネットワーク設定	32
プリセットをリストから選択する	22	Fusion PartyBus デバイスを DHCP サーバーとして設定する	33
プリセットを削除する	22	GarminMarine Network で使用するためのステレオ設定	33
Fusion PartyBus ネットワーク	23	静的 IP アドレスを設定する	34
グループの作成	23	ネットワーク設定をリセットする ...	34
グループの編集	23	更新オプション	34
グループから退出する	23	追加のステレオコントロールオプション	35
グループ化されたステレオ機能	24	Garmin ウォッチに接続する	35
グループ化されたステレオソースに関する注意事項	24	ARX70 リモートコントロールに接続する	35
グループの同期化	25	Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ	35
グループ同期を有効にする	25	FUSION-Link™ ネットワーク技術	36
一般設定	26	NMEA 2000 リモコンおよびディスプレイ	36
スピーカーゾーンの設定	26	オプションの有線 NRX リモートコントロールの設定	36
内蔵アンプを無効にする	26	NMEA 2000 の情報	36
ホームゾーンの設定	26		
ソースとゾーンの音量レベルを同期する	27		
電源オン音量制限を調整する	27		
個々のゾーンの音量レベルを維持する	27		
速度に基づく自動音量調整を有効にする	27		
自動音量調節設定	27		

付録.....	37
Fusion デバイスの登録.....	37
デバイスのクリーニング.....	37
ソフトウェア更新.....	37
USB フラッシュドライブを使用してソ フトウェアを更新する.....	37
Fusion Link アプリを使用したソフト ウェアの更新.....	38
トラブルシューティング.....	38
キーを押してもステレオが反応しな い.....	38
Bluetooth オーディオがわずかな時間 中断する.....	38
Bluetooth ソースの曲情報のうちステ レオに表示されないものがある.....	38
ネットワークのトラブルシューティン グ.....	39
ネットワークステータスのアイコ ン.....	39
ステレオは Apple デバイスに接続した ときロックされたままになる.....	39
接続されている Apple デバイスをステ レオが見つけられない.....	40
Apple AirPlay オーディオがわずかな 時間中断する.....	40
仕様.....	40
ステレオ寸法図面.....	41
側面寸法.....	41
上部寸法.....	42

はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

ステレオのコントロール



ダイヤル

- 音量を調整します。
- 音量を調節しているとき、押すとゾーンが切り替わります。
- 回すと、メニューを移動したり設定を調整したりできます。
- メニュー表示で、押すと強調表示されたオプションを選択できます。
- 長押しすると、ラジオプリセットを開く、またはミュート画面 (接続したすべてのステレオをミュートする, 6 ページ) から接続されているすべてのステレオをミュートにするなどの特定の機能が有効になります。



押すとソースが変わります。

ヒント：ダイヤルを回して参照し、ダイヤルを押してソースを選択できます。画面を上下にスワイプして、画面上のソースをタッチすることもできます。

Fusion PartyBus™ ネットワーク (Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ) に接続しているときに長押しするとグループメニューが開きます。



押すとメニューが開きます。












- 押すとステレオがオンになります。
- 押すと音声ミュートされます。
- 長押しすると、ステレオ、またはネットワーク上のすべてのステレオがオフになります。
- 10 秒以上長押しして、ステレオをリセットします。

再生コントロール

画面上の再生コントロールは、選択したソースによって異なる場合があります。

注：約 15 秒後、ジェスチャー画面機能によって再生コントロールが非表示になります。画面を下にスワイプすると、再生コントロールを表示できます ([ジェスチャー画面, 4 ページ](#))。

	押すと、メディアの再生を一時停止します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すと、メディアを再生するか、メディアの再生を再開します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すと前のトラックにスキップします (該当するソースを使用している場合)。 ・ 長押しするとトラックが巻き戻されます (該当するソースを使用しているとき)。 ・ AM、FM、または SiriusXM (ライブモード) ソース : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 押すと、前の局やプリセットにチューニングされます。 ◦ 長押しすると、チューニングが速くなります (手動モードのみ)。 ・ SiriusXM (再生モード) ソース : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 押すと前のトラックに戻ります。 ◦ 長押しすると、現在のトラックが巻き戻されます。 ・ DAB ソース : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 押すと、アンサンブルで前の DAB 局に戻ります。現在のアンサンブルの始めに到達したら、前のアンサンブルで聴ける最後の局に自動的に変わります。 ◦ 長押しすると、前の DAB アンサンブルに戻ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すと次のトラックへスキップします (該当するソースを使用しているとき)。 ・ 長押しするとトラックが早送りされます (該当するソースを使用しているとき)。 ・ AM、FM、または SiriusXM (ライブモード) ソース : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 押すと、次の局またはプリセットにチューニングされます。 ◦ 長押しすると、チューニングが速くなります (手動モードのみ)。 ・ SiriusXM (再生モード) ソース : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 押すと次のトラックにスキップします (該当する場合)。 ◦ 長押しすると、現在のトラックが早送りされます (該当する場合)。 ・ DAB ソース : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 押すと、アンサンブルで次の DAB 局に進みます。現在のアンサンブルの最後に到達したら、次のアンサンブルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。 ◦ 長押しすると、次の DAB アンサンブルに進みます。
 (AM または FM ソース)	押すと、チューニングモード (自動または手動) とプリセットが切り替わります。 長押しすると、現在の局がプリセットとして保存されます。
 (SiriusXM ソース)	長押しすると、再生モードとライブモードが切り替わります (再生モードを使用する, 15 ページ)。 再生モード : 押すと、チャンネルが一時停止 / 再生されます。 ライブモード : 押すと、チューニングモード (手動またはカテゴリー) とプリセットが切り替わります。
 (DAB ソース)	押すと、手動チューニングモードとプリセットが切り替わります。 長押しすると、DAB 放送局がスキャンされます。
 (Aux および光学メディアソース)	押すと、ゲインが上がります。
 (Aux および光学メディアソース)	押すと、ゲインが下がります。

ジェスチャー画面

約 15 秒後、メディア情報とジャケットのみを表示する画面が表示されます。タッチスクリーンを使用すると、この画面を操作できます。

- ・ 左右にスワイプすると、トラックまたはプリセットを変更できます。
- ・ ソースに応じて、画面を約 1 秒間タッチして再生を一時停止したり、オーディオをミュートできます。
- ・ 下にスワイプすると、再生コントロール画面に戻ることができます。

注：この画面は設定で無効にできます (電源オプション, 29 ページ)。

テキストの入力

- 1 テキストを入力できるフィールドで、✕を選択して、既存のテキストを消去します。
- 2 必要に応じて、◀または▶を選択して数字、記号、または小文字を使用します (使用可能な場合)。
- 3 文字をタッチして選択します。
- 4 ✓を選択して、新しいテキストを保存します。

ダイヤルを使用したアイテムの選択

ダイヤルを使用して、画面のアイテムを強調表示して選択できます。

- ・ ダイヤルを回して、画面のアイテムを強調表示します。
- ・ ダイヤルを押して、強調表示されたオプションを選択します。

ステレオ画面




画面に表示される情報は、選択したソースに応じて異なります。画面上の再生コントロールは、選択したソースに応じて異なる場合があります (再生コントロール, 2 ページ)。この例では、Bluetooth®無線技術を使用して接続したデバイスでのトラックの再生を示しています。



①	ソース名
②	アクティブゾーン、ステータスアイコン、およびショートカット (ステータスアイコン, 5 ページ) ヒント：アイコンに触れると、該当するページが開きます。
③	トラックの詳細 (利用可能な場合)
④	アルバムアート (対応ソースから得られる場合)
⑤	経過時間、トラックの再生時間、プレイリスト内の総トラック数のうち現在のトラック番号 (該当する場合)

ステータスアイコン

ステータスアイコンをタッチして、該当する画面を開くことができます。


	音量画面を開きます。
	プリセット画面を開きます。
	ネットワーク設定を開きます。 注：このステレオがグループの一部である場合は、ネットワーク設定にアクセスできません。

デバイスの名前指定

Fusion PartyBus ネットワーク上で本機を表示する際に識別しやすくするように、本機に一意の名前を付ける必要があります。


注：ステレオやゾーンをグループ化、制御、設定する際に混乱しないように、ネットワーク上のすべてのデバイスとゾーンに一意の名前を付ける必要があります。使用していないゾーンもオフにする必要があります ([スピーカーゾーンの設定, 26 ページ](#))。

さらにカスタマイズするには、各ステレオのソースに一意の名前を付け、未使用のソースをオフにします ([一般設定, 26 ページ](#))。


- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 デバイス名を選択し、オプションを選択します。
 - ・ リストから定義済みの名前を選択します。
 - ・ カスタム名を選択し、デバイスに一意の名前を入力します。

ホームゾーンの設定

ホームゾーンは、ダイヤルを回したときにデフォルトで調整されるスピーカーゾーンです。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーン > ホームゾーンを割り当てますを選択します。
- 3 ゾーンを選択します。

ソースを選択する

- 1  を選択します。
- 2 ダイヤルを回してソースを強調表示します。

注：デバイスがグループの一部である場合、ダイヤルを回してグループ内の他のデバイスのソースにアクセスします ([グループの作成, 23 ページ](#))。

ソースは、グループと共有できない場合、グレーで表示され、選択できません。
- 3 ダイヤルを押してソースを選択します。

ヒント：または、画面上でソースにタッチして選択することもできます。

バックライトとダイヤルの輝度を調整する

注：配線ハーネスの DIM ケーブルをボートの照明ケーブルに接続した場合、ボートのライトがオンになるとバックライトとダイヤルは自動的に暗くなります。これは輝度設定の調整に影響する場合があります。

- 1  > バックライトレベルを選択します。
- 2 輝度レベルを調整します。

オーディオコントロール

音量を調整する


このステレオを使用して、Fusion PartyBus ネットワークに接続されているステレオの任意のゾーンの音量を制御できます。

- 1 ダイアルを回して、ステレオのホームゾーンの音量を調整します。
- 2 必要に応じて、ダイアルを押してゾーンを切り替えます。

注：このステレオがグループの一部である場合は、グループ内のすべてのステレオの音量、または各ステレオの個々のゾーンの音量を調整できます ([グループの作成, 23 ページ](#))。

接続したすべてのステレオをミュートする

このステレオまたは Fusion PartyBus ネットワークに接続されているすべてのステレオの音声をすばやくミュートできます ([Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ](#))。


- 1 任意のソースで、を押します。
ミュート記号が表示され、このステレオの音声が消えます。
注：ステレオがグループの一部である場合、グループ化されたすべてのステレオの音声が消えます。
- 2 システムのミュートを選択します。
接続しているすべてのステレオの音声が消えます。
- 3 システムのミュート解除を選択します。
接続したすべてのステレオで音声が復元します。

サブウーファーレベルを調整する

サブウーファーレベルはゾーンごとに調整できます。


- 1 ダイアルを押し、接続しているサブウーファーがあるゾーンを選択します。
- 2 ダイアルを長押しします。
ゾーンのサブレベル調整が表示されます。
- 3 サブウーファーレベルを調整し、ダイアルを押して設定します。

トーンを調整する

- 1  > オーディオの順に選択します。
- 2 調整するゾーンを選択します。
- 3 ダイアルを押して、トーンを選択します。
- 4 トーンレベルを調整し、ダイアルを押して設定します。
スライダバーをドラッグすると、トーンレベルを調整できます。

ゾーンの大音量設定を無効にする

大きい設定は周波数応答を小音量で維持し、知覚されるラウドネスを大音量で増大します。この設定は、すべてのゾーンでデフォルトで有効になっています。

- 1  > オーディオの順に選択します。
- 2 調整するゾーンを選択します。
- 3 大きいを選択して、チェックボックスをオフにします。

補助デバイスのゲインを調整する

接続した補助デバイスのゲインを調整して、他のメディアソースと同様の音量レベルにすることができます。ゲインは 1 dB 単位で調整できます。また、光オーディオ接続を使用してデジタルソースのゲインを調整することもできます。

- 1 補助ソースを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ゲインを増やすには、**+** を選択します。
 - ・ ゲインを下げるには、**-** を選択します。

注：ポータブルメディアプレーヤーをヘッドフォン出力で使用するときに最高の音質を得るには、ゲインを調整するのではなく、メディアプレーヤーの音量を調節することをお勧めします。

スピーカーゾーン

1 つのエリアのスピーカーをグループ化して、スピーカーゾーンにすることができます。これにより、ゾーンの音声レベルを個別に制御できます。たとえば、キャビン内のオーディオの音量を下げ、デッキの音量を上げることができます。

バランス、音量制限、トーン、サブウーファー周波数、および各ゾーンの名前、その他のゾーン固有の設定を設定できます ([スピーカーゾーンの設定, 26 ページ](#))。

DSP 設定




このステレオはデジタル信号処理 (DSP) 機能を備えています。あらかじめ構成された DSP 設定を Fusion® スピーカーおよびアンプに選択して、オーディオ再生をそれぞれの設置場所で最適化することができます。

すべての DSP 設定は Fusion-Link™ リモートコントロールアプリ ([Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 35 ページ](#))。

DSP 設定を構成する

DSP 設定を構成する前に、Fusion-Link リモートコントロールアプリをダウンロードして対応する Apple® または Android™ デバイスにインストールする必要があります ([Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ, 35 ページ](#))。

DSP 設定を構成して、設置したスピーカーやアンプ、および環境で各ゾーンのサウンドを最適化できます。

- 1 Apple または Android デバイスの設定メニューから、Bluetooth テクノロジーを使用してステレオに接続するか、ステレオと同じワイヤレスネットワークに接続します。
- 2 Fusion-Link リモートコントロールアプリを対応の Apple または Android デバイスで開きます。
- 3 必要に応じて、構成するステレオを選択します。
- 4  を選択します。
- 5 必要に応じて、ミュージックタブを選択します。
- 6 ゾーンを選択します。
- 7 **DSP 設定**を選択します。
- 8 DSP 設定の構成が必要であれば、ゾーンに接続している Fusion スピーカーおよびアンプのモデルに応じて行います。
- 9 これらの手順をゾーンごとに繰り返します。
- 10 DSP 設定の構成がすべてのゾーンで完了したら、オプションを選択します。
 - ・ Apple デバイスでは、 > **DSP 設定の送信**の順に選択します
 - ・ Android デバイスでは、 > **ゾーン** > **DSP 設定の送信**の順に選択します。

速度に基づく自動音量調整

お使いのステレオが、エンジン、チャートプロッター、GPS アンテナ、航行スピードセンサー、または風速センサーなど、速度情報を提供するデバイスで NMEA 2000®ネットワークに接続されている場合、選択した速度ソースに基づいて自動的に音量を調整するようにステレオを設定できます ([速度に基づく自動音量調整を有効にする, 27 ページ](#))。

たとえば、内蔵 GPS アンテナまたはスタンドアロン GPS アンテナを搭載したチャートプロッターがステレオと同じ NMEA 2000 ネットワーク上にあり、速度ソースを SOG に設定すると、速度が上がるにつれて音量が上がります。

注：速度に合わせて音量が上がるとき、実際の音量出力は変化しますが、音量レベルインジケータバーと数字は変化しません。

ステレオを NMEA 2000 ネットワークに接続する方法の詳細については、お使いのステレオのインストールガイドを参照してください。

メディアプレーヤー接続

⚠ 注意

メディアプレーヤーは、使用しないときは必ずステレオから切り離し、船内に置いたままにしないでください。これにより、極端な高温による損傷や盗難のリスクを減らすことができます。

船を操縦している間は気をとられないよう、メディアプレーヤーを取り外したりステレオを使用したりしないでください。使用に関連するすべての海洋法を確認し、順守してください。

注記

本機器の使用に関連するすべての適用法令を遵守することは、ユーザーの責任です。Garmin®は、そのような法律および条例を遵守しなかった場合に発生する罰金、罰則、または損害について一切責任を負いません。

ステレオは、スマートフォンやその他のモバイル機器など、さまざまなメディアプレーヤーに対応しています。対応メディアプレーヤーは、Bluetooth ワイヤレス接続を使用するか、USB ポートの USB 接続を使用できます。ステレオは、同じネットワークに接続された NAS (Network Attached Storage) デバイスなど、UPnP (Universal Plug and Play) デバイスからメディアを再生できます。ステレオは、Apple 機能を使用して同じネットワークに接続された AirPlay®対応デバイスからメディアを再生できます。

Bluetooth デバイスの再生

ステレオは最大で 8 台の Bluetooth メディアデバイスとペアリングできます。

すべての Bluetooth デバイスでステレオコントロールを使用して再生を操作できます。また、一部のデバイスでは、ステレオのメニューから音楽コレクションを参照できます。


メディアの参照をサポートしていない Bluetooth デバイスでは、曲やプレイリストをメディアデバイスで選択する必要があります。

曲の情報 (曲のタイトル、アーティスト名、トラック再生時間、ジャケットなど) が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーの機能と音楽アプリケーションによって異なります。

対応する Bluetooth デバイスを接続する

対応する Bluetooth デバイスからメディアを、Bluetooth ワイヤレス接続を使用して再生できます。

音楽再生は Bluetooth デバイスのメディアアプリを使用したり、Fusion-Link リモートコントロールアプリを使用したりして制御できます ([Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ](#), 35 ページ)。

- 1 **BLUETOOTH** ソースを選択します。
- 2  > **BLUETOOTH** > **コネクション** > **検出可能**の順に選択して、お使いの対応 Bluetooth デバイスがステレオを認識できるようにします。
- 3 Bluetooth をご使用の対応 Bluetooth デバイスで有効にします。
- 4 対応する Bluetooth デバイスをステレオから 10 m (33 ft.) 内に置きます。
- 5 対応する Bluetooth デバイスで、Bluetooth デバイスを検索します。
- 6 対応する Bluetooth デバイスで、検出されたデバイスのリストからステレオを選択します。
注：ステレオが Bluetooth デバイスリストにデバイス名として表示されます (設定で変更されていない限り、デフォルト名は MS-RA770 です)。
- 7 対応する Bluetooth デバイスで、画面の指示に従って検出されたステレオとペアリングし、接続します。
ペアリング中に、対応 Bluetooth デバイスからステレオのコードを確認するよう求められる場合があります。ステレオにコードの表示はありませんが、このメッセージを Bluetooth デバイスで確認すると正しく接続されます。
- 8 対応する Bluetooth デバイスがすぐにステレオに接続されない場合は、手順 1~7 を繰り返します。
注：別の Bluetooth デバイスがステレオで音楽を再生している場合、新しいデバイスを接続しても再生が中断されることはありません。新しく追加したデバイスを使用する場合は、そのデバイスを選択する必要があります (別の [Bluetooth デバイスの選択](#), 9 ページ)。

検出可能設定は、2 分後に自動的に無効になります。

注：一部の Bluetooth デバイスでは、デバイス上で音量を調節するとステレオの音量レベルに影響します。


Bluetooth 範囲の情報

ステレオおよび Bluetooth ワイヤレスデバイスの通信距離は 10 m (33 ft.) です。最適なパフォーマンスが得られるように、Bluetooth ワイヤレスデバイスからステレオまでの障害のない見通し線が確保されている必要があります。

注：Wi-Fi®信号が Bluetooth デバイスの接続に干渉する可能性があります。ステレオを使用していない場合は、ステレオの Wi-Fi 設定をオフにする必要があります。

別の Bluetooth デバイスの選択

複数の Bluetooth デバイスがステレオとペアリングされているときは、異なるデバイスを必要に応じて選択できます。ステレオは最大で 8 台の Bluetooth デバイスとペアリングできます。

- 1 **BLUETOOTH** ソースを選択した状態で、 > **BLUETOOTH** > **コネクション** > **ペアリングされたデバイス**の順に選択します。
- 2 Bluetooth デバイスを選択します。

Bluetooth ソースメニューと設定

BLUETOOTH ソースを選択した状態で、 > BLUETOOTH の順に選択します。

注：このメニューのオプションは、接続されているデバイスに応じて異なります。

コネクション > 検出可能: ステレオは Bluetooth デバイスが認識可能になります。この設定をオフにすると、Bluetooth デバイスをステレオにペアリングした後でオーディオが中断されるのを防ぐことができます。

コネクション > ペアリングされたデバイス: ステレオとペアリングされた Bluetooth デバイスのリストを表示します。デバイスが範囲内にある場合は、リストで選択してステレオに接続できます。

コネクション > デバイスを削除: Bluetooth デバイスをステレオから取り外します。この Bluetooth デバイスの音声を再び聴くには、デバイスを再度ペアリングする必要があります。

注：また、Bluetooth デバイスの再ペアリング時に接続の問題が発生しないように、お使いのデバイスのペアリングされたデバイスリストからステレオを削除する必要があります。

繰り返し: 現在の選択範囲に対して繰り返しモードを設定します (Apple デバイスのみ)。1 回繰り返しオプションを選択すると、現在の選択を繰り返すことができます。すべて繰り返しオプションを選択すると、選択したすべてのアイテムを繰り返すことができます。

シャッフル: フォルダ、アルバム、またはプレイリストのトラックをシャッフルします (Apple デバイスのみ)。

プレイリスト: デバイスにあるプレイリストを表示します (Apple デバイスのみ)。

アーティスト: デバイスにあるアーティストを表示します (Apple デバイスのみ)。

アーティスト: デバイスにあるアルバムを表示します (Apple デバイスのみ)。

ジャンル: デバイスにある音楽ジャンルを表示します (Apple デバイスのみ)。

曲: デバイスにある曲を表示します (Apple デバイスのみ)。

Bluetooth 自動接続を無効にする

デフォルトでは、ステレオは起動すると、最後に接続した Bluetooth デバイスに自動的に再接続します。この設定は無効にできます。

 > 設定 > ソース > BLUETOOTH > 自動接続 の順に選択します。

自動接続チェックボックスがオフの場合、ステレオは自動的に Bluetooth デバイスに再接続しようとしません。この機能が無効になっている場合は、手動で Bluetooth デバイスを選択して接続する必要があります ([別の Bluetooth デバイスの選択](#), 9 ページ)。

USB デバイスの再生

さまざまな USB メディアプレーヤー、USB フラッシュドライブ、スマートフォンをステレオに接続できます。USB ソースへのアクセス方法は、接続されているメディアプレーヤーまたはスマートフォンのタイプによって異なります。

メディアプレーヤー	ソースの選定
Android デバイス	MTP
Apple デバイス	iPod
USB フラッシュドライブ	USB
MP3 メディアプレーヤー (大容量記憶装置として)	USB 注: MP3 メディアプレーヤーが USB 接続時に大容量記憶をサポートしていない場合は、補助デバイスとしてステレオに接続しなければなりません (補助デバイスを接続する, 14 ページ)。

すべての USB デバイスでステレオコントロールを使用して再生を操作できます。また、一部のデバイスでは、ステレオのメニューから音楽コレクションを参照できます。メディアの参照をサポートしていない USB デバイスでは、曲やプレイリストをメディアデバイスで選択する必要があります。

曲の情報 (曲のタイトル、アーティスト名、トラック再生時間など) が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーの機能と音楽アプリケーションによって異なります。

USB デバイスの互換性

USB フラッシュドライブを使用するか、メディアプレーヤーに付属している USB ケーブルを使用してメディアプレーヤーまたはモバイルデバイスを USB ポートに接続できます。

ステレオは、iAP2 Apple デバイス (iPhone® Xs Max、iPhone Xs、iPhone XR、iPhone X、iPhone 8 Plus、iPhone 8、iPhone 7 Plus、iPhone 7、iPhone SE、iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPod touch® (第 6 世代) など) に対応しています。

ステレオは、MTP モードをサポートしている Android デバイスに対応しています。

ステレオは、メディアプレーヤーや他の USB 大容量記憶装置 (USB フラッシュドライブを含む) に対応しています。USB ドライブ上の音楽は以下の条件を満たす必要があります。

- 音楽ファイルの形式は MP3 ファイル、AAC (.m4a) ファイル、または FLAC ファイルでなければなりません。
- ポータブルハードディスクを接続する場合は、外部の電源に接続する必要があります。このステレオの USB ポートは、ポータブルハードディスクに電力を供給できません。
- USB 大容量記憶装置は、次のいずれかのシステムを使用してフォーマットする必要があります。
 - Microsoft®: NTFS、VFAT、FAT¹、MSDOS
 - Apple: HFS、HFSPLUS
 - Linux: EXT2、EXT3、EXT4

USB デバイスを接続する

USB デバイスをステレオの USB ポートに接続できます。

- ステレオの背面にある USB ポートの位置を確認します。
- USB デバイスを USB ポートに接続します。

¹ FAT には、ほとんどのタイプの FAT ファイルシステムが含まれています (exFAT を除く)。

USB フラッシュドライブ、メディアプレーヤーで音楽再生を制御する

1 対応する USB フラッシュドライブまたはメディアプレーヤーをステレオに接続します。

2 **USB** ソースを選択します。

3  > **USB** の順に選択します。

4 USB デバイスの名前を選択します。

5 デバイスで音楽ファイルを参照し、再生を開始します。

ステレオコントロールを使用してトラックの選択、再生、一時停止、スキップができます。

ヒント：USB メディアプレーヤーに画面およびコントロールがある場合は、USB メディアプレーヤーでコントロールを使用して再生を操作できます。

接続した Android デバイスで音楽再生を制御する

USB ケーブルを使用して Android デバイスをステレオに接続し、Android デバイスに保存されているメディアファイルを再生できます。Android デバイス上のアプリからメディアを再生するには、代わりに Bluetooth テクノロジーを使用してデバイスを接続する必要があります ([Bluetooth デバイスの再生, 8 ページ](#))。

1 適切な USB ケーブルを使用して、対応する Android デバイスをステレオに接続します。

2 必要に応じて、Android デバイスで USB ファイル転送または MTP を有効にします。

詳細については、Android デバイスについて利用できるドキュメントを参照してください。

3 ステレオで **MTP** ソースを選択します。

4  > **MTP** の順に選択します。

5 Android デバイスで音楽ファイルを参照し、再生を開始します。

ステレオコントロールを使用してトラックの選択、再生、一時停止、スキップができます。

接続した Apple デバイスで音楽再生を制御する


1 USB を使用して、対応する iAP2 Apple デバイスをステレオに接続します。

2 ステレオで **iPod** ソースを選択します。

3 接続した Apple デバイスで音楽アプリケーションを起動し、再生を開始します。

Apple デバイスで音楽アプリケーションを使用するか、ステレオコントロールを使用して、音楽ライブラリを参照、またはトラックを選択、再生、一時停止、スキップできます。

USB ソース設定

USB デバイスが接続されていて、USB ソースが選択されている状態で、 を選択し、USB、iPod、または MTP を選択します。

注：このメニューを使用して、デバイス上のファイルを参照できます。このメニューのオプションは、接続されているデバイスに応じて異なります。

繰り返し: USB または MTP ソースの場合は、選択すると、リストの最後のトラックが再生された後、最初からトラックの再生が開始されます。

iPod ソースの場合は、1 回繰り返しの選択すると、現在のトラックが繰り返され、すべて繰り返しの選択すると、フォルダ、アルバム、またはプレイリストの最後のトラックが再生された後、最初からトラックの再生が開始されます。

シャッフル: USB または MTP ソースの場合は、選択すると、リストのトラックがランダムに再生されます。

iPod ソースの場合は、フォルダ、アルバム、またはプレイリストのトラックがランダムに再生されます。

ラジオ

AM または FM ラジオを聞くには、適切な船舶用 AM / FM アンテナをステレオに正しく接続し、放送局の受信範囲内にいる必要があります。AM/FM アンテナの接続方法については、ステレオ設置ガイドを参照してください。

SiriusXM®ラジオを聞くには、適切な機器とサブスクリプションが必要です (SiriusXM 衛星ラジオ, 14 ページ)。SiriusXM Connect Vehicle Tuner の接続方法については、ステレオ設置ガイドを参照してください。

DAB 放送局を聞くには、適切な機器が必要です (DAB の再生, 21 ページ)。DAB アダプタとアンテナの接続手順については、アダプタとアンテナに付属しているインストールガイドを参照してください。

チューナーの地域を設定する

AM / FM 局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。


対応する SiriusXM チューナーおよびアンテナに接続しており、サブスクリプションがある場合 (米国のみ)、SiriusXM 局を正しく受信するには、自分の現在の地域を選択する必要があります。

注：SiriusXM サービスを利用できない地域もあります。




DAB 放送局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。



注：DAB 放送局を受信するには、対応する DAB モジュールとアンテナ (別売り) を接続する必要があります。

DAB 局は、一部の地域ではご利用になれません。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 チューナーの地域を選択します。
- 3 所在している地域を選択します。

ラジオ局の変更



- 1 適切なソース (FM) を選択します。
- 2  を繰り返し選択してチューニングモードを移動し、オプションを選択します。
 - ・ 次に使用可能な局をスキャンして停止するには、自動を選択します。
 - ・ 手動で局を選択するには、手動を選択します。
 - ・ 保存した局のプリセットを選択するには、プリセットを選択します。
- 3  または  を選択して、局にチューニングします。

手動 チューニングモードでは、 または  を押し続けると、局をすばやく移動できます。

Apple AirPlay

Apple を使用した AirPlay デバイスの接続

- 1 Apple デバイスの設定メニューから、互換性のある Fusion ステレオと同じワイヤレスネットワークに接続します。

注：一部の Apple デバイスは、有線のイーサネット接続を使用してネットワークに接続できます (該当する場合)。詳細については、Apple のウェブサイトを参照してください。
- 2 Apple デバイスで、ステレオにストリーミングする音楽アプリを開きます。
- 3 音楽アプリまたはプログラムから、 または  を選択し、ステレオの名前を選択します。
- 4 必要に応じて、アプリで音楽を再生します。

ステレオが自動的に AirPlay ソースに変更され、Apple デバイスからオーディオが再生されます。

注：Apple デバイスで、AirPlay 2 ソフトウェアを使用している場合、同じネットワーク上で複数のステレオに接続できます。

注：Fusion PartyBus ネットワークを使用して、AirPlay ソースをネットワーク上の他のステレオにストリーミングすることはできません (Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ)。AirPlay 2 ソフトウェアを使用すると、ネットワーク上の複数のステレオでコンテンツを再生できますが、ステレオはグループ化できません。

注：一部の AirPlay デバイスでは、デバイス上で音量を調節するとステレオの音量レベルに影響します。

AirPlay パスワードを設定する

AirPlay 機能を使用してステレオに接続するときに、ユーザーが入力する必要があるパスワードを設定できます。

- 1  > 設定 > ソース > AirPlay > AirPlay のパスワードの順に選択します。
- 2 パスワードを入力します。

注：AirPlay パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

AirPlay 機能を使用してこのステレオに接続する場合、ユーザーは Apple デバイスでパスワードを入力する必要があります。

UPnP の再生

このステレオは、コンピュータやメディアサーバーなどのネットワークに接続している UPnP (Universal Plug and Play) デバイスからコンテンツを再生できます。UPnP デバイスはステレオと同じネットワークに、有線または無線接続を使用して接続する必要があります。また、ネットワーク経由でメディアを共有するようデバイスを構成する必要があります。詳細については、UPnP デバイスのマニュアルを参照してください。

UPnP デバイスをネットワークに接続し、メディアを共有するように設定すると、UPnP ソースがネットワーク上の各ステレオのソース選択画面に表示されます ([ソースを選択する, 5 ページ](#))。

UPnP 対応デバイスを接続する

NAS デバイスなどの UPnP 対応デバイスからメディアを再生するため、ステレオをネットワークに接続する必要があります。

- 1 UPnP 対応デバイスをステレオと同じネットワークに接続します。必要に応じて、UPnP 対応デバイスとルーターの取扱説明書を参照してください。
- 2 UPnP ソースをステレオで選択します ([ソースを選択する, 5 ページ](#))。
UPnP デバイスからメディアを参照して再生することができます。

補助デバイスを接続する

さまざまな補助デバイスをステレオに接続できます。これらのデバイスには RCA コネクタ、ライン出力、またはヘッドフォン出力ジャックがあります。

- 1 配線ハーネスの補助コネクタを探します。
- 2 必要に応じて、RCA - 3.5mm アダプターケーブルを補助デバイスに接続します。
- 3 補助デバイスを配線ハーネスの AUX IN RCA コネクタに接続します。
- 4 **Aux** ソースを選択します。

光オーディオ接続

光オーディオケーブルを使用して、光オーディオ出力のあるデバイスをステレオに接続できます。テレビ、DVD プレーヤー、CD プレーヤーおよびその他のデバイスは、デジタル光オーディオ出力が付属している場合があります。

このステレオは PCM オーディオのみをサポートしています。PCM オーディオを出力するには、デバイスの設定変更が必要になる場合があります。

注：Fusion PartyBus ネットワーク上でのストリーミングオーディオでは若干の遅延が生じるため、テレビや DVD プレーヤーからのストリーミングコンテンツは理想的でない場合があります。必要に応じて、ストリーミングソースとしての光学メディアを設定で無効にできます ([ソースの設定, 30 ページ](#))。

SiriusXM 衛星ラジオ

SiriusXM は、すばらしいリスニングコンテンツをすべて 1 つの場所で楽しめるラジオ局です。140 以上のチャンネルをお楽しみください。CM のない音楽の他、スポーツ、ニュース、トーク、コメディ、エンターテインメントなどのチャンネルがあります。衛星ラジオの世界へようこそ。SiriusXM 車両チューナーとサブスクリプションが必要です。詳細については、www.siriusxm.com をご覧ください。


SiriusXM ソースのチューナーの地域を設定する

衛星ラジオを聞く前に、SiriusXM ステレオが USA のチューナー領域を使用するように設定する必要があります。

 > 設定 > チューナーの地域 > USA の順に選択します。

SiriusXM ラジオ ID を確認する

SiriusXM サブスクリプションを有効にするには、SiriusXM 接続チューナーのラジオ ID が必要です。SiriusXM ラジオ ID は、SiriusXM 接続チューナーの背面またはそのパッケージにあるか、ステレオをチャンネル 0 にチューニングすることで確認できます。

SiriusXM ソースを選択した状態で、 > SiriusXM > チャンネル > 全チャンネル > 000 RADIO ID の順に選択します。

SiriusXM ラジオ ID には I、O、S、F の文字は含まれません。

SiriusXM サブスクリプションの有効化

- 1 選択した SiriusXM ソースで、チャンネル 1 にチューニングします。
プレビューチャンネルを聴取できる必要があります。聴取できない場合は、SiriusXM 接続チューナーやアンテナの設置および接続を確認し、もう一度試してください。
- 2 チャンネル 0 にチューニングして、ラジオ ID を確認します。
- 3 米国で購読するには、SiriusXM リスナーサポートに電話 ((866) 635-2349) で問い合わせるか、www.siriusxm.com/activatenow にアクセスします。カナダで購読するには、SiriusXM に電話 ((877) 438-9677) で問い合わせるか、www.siriusxm.ca/activatexm にアクセスします。
- 4 ラジオ ID を入力します。
有効化処理には通常 10 ~ 15 分かかりますが、最大で 1 時間かかることもあります。SiriusXM 接続チューナーで有効化メッセージを受信するには、チューナーの電源をオンにし、SiriusXM 信号を受信する必要があります。
- 5 1 時間以内にサービスが有効化されない場合は、<http://care.siriusxm.com/refresh> にアクセスするか、SiriusXM リスナーサポートに電話 (1-866-635-2349) でお問い合わせください。

カテゴリーを選択する

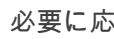



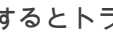

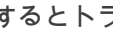

カテゴリー調整方法を使用しているときに表示されるチャンネルのカテゴリーを制御できます。

- 1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > SiriusXM > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。

再生モードを使用する

再生モードを使用して SiriusXM ブロードキャストの再生を制御できます。

注：保存されているプリセットチャンネルを再生しているとき再生モードが自動的に有効になります。

- 1 必要に応じて  を長押しして再生モードを有効にします。
 が再生モードに変わり、進捗バーが表示されます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 -  をタップすると、再生が一時停止または再開します。
 -  をタップするとトラックが前に戻り、 をタップするとトラックが先に進みます。
注：進捗バーの最後まで早送りまたはスキップすると、ステレオは再生モードを自動的に終了します。
 -  を長押しするとトラックが巻き戻され、 を長押しするとトラックが早送りされます。
 -  を押し続けると、再生モードが終了します。

アラート


⚠ 警告

操船中にステレオやメディアプレーヤーを使用する場合は注意してください。注意が散漫になり、事故が発生して重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

注：アーティスト、曲、ゲームアラートの機能は、SXV300 チューナー（別売）に対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧ください。そのチューナーモジュールで利用できる機能について確認してください。

アーティストまたは曲のアラートを追加する


アーティストや曲のアラートを設定して、特定の曲や特定のアーティストの曲がどこかの音楽チャンネルで流れ始めたらすぐにそのチャンネルにチューニングできるようにします。

- 1 特定の曲や特定のアーティストの曲が流れている間に、 > **SiriusXM** > **アラートを追加** > **アーティスト / 曲の保存**の順に選択します。
- 2 曲またはアーティストを選択します。

ゲームアラートのチームを追加する


スポーツチームのアラートを設定して、保存されたチームが出場するゲームがいずれかのスポーツチャンネルで始めると、そのチャンネルにすばやくチューニングできるようになります。

注：ゲームアラートは SportsFlash™アラートとは異なります。ゲームアラートは、ゲームの開始を知らせてくれます。それに対して SportsFlash アラートは、ゲーム中にエキサイティングなプレイが起きると知らせてくれます。

- 1  > **SiriusXM** > **アラートを追加** > **ゲームからチームへのアラートの順**に選択します。
- 2 スポーツリーグを選択します。
- 3 チームを選択してチェックボックスをオンにし、ゲームアラートを追加します。
- 4 ゲームアラートのリストに追加する各チームに対して、手順 2 と 3 を繰り返します。


チームをライブゲームから追加する

ゲームを聞いている間に、プレイ中のチームをゲームアラートチームのリストにすばやく追加できます。

- 1 チャンネルでゲームを聞いている間に、 > **SiriusXM** > **アラートを追加** > **チームの保存**の順に選択します。
現在のゲームでプレイしているチームのリストが表示されます。
- 2 ゲームアラートチームのリストに追加するチームを選択します。


アクティブアラートを表示する

アクティブなアーティスト、曲、ゲームアラートを確認できます。

- 1  > **SiriusXM** > **アクティブアラートの順**に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。

アラートを管理する

自分で保存したアラートを管理して、受け取りたいアラートを選択できます。保存したアラートのうち必要でないものを削除できます。

- 1  > **SiriusXM** > **SXM SETTINGS** > **アラート管理**の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 保存したアラートを曲だけ、アーティストだけ、またはゲームだけで有効にするには、**タイプごとに有効化**を選択し、**タイプ**を選択します。
 - ・ 保存したアラートを特定のアーティストだけで有効にするには、**アーティストを有効にする**を選択して、**アーティスト**を選択します。
 - ・ 保存したアラートを特定の曲だけで有効にするには、**曲を有効にする**を選択して、**曲**を選択します。
 - ・ 保存したゲームアラートを特定のチームで有効にするには、**チームの有効化**を選択して**チーム**を選択します。
 - ・ 保存した曲、アーティスト、またはチームのすべてのアラートを削除するには、**タイプによる削除**を選択し、**タイプ**を選択します。
 - ・ 保存した特定のアーティストのアラートを削除するには、**アーティストの削除**を選択して、**アーティスト**を選択します。
 - ・ 保存した特定の曲のアラートを削除するには、**曲の削除**を選択して、**曲**を選択します。
 - ・ 保存した特定のチームのアラートを削除するには、**チームの削除**を選択して、**チーム**を選択します。



TuneMix™機能

注：TuneMix 機能は SXV300 チューナー（別売）が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧ください。そのチューナーモジュールで利用できる機能について確認してください。

TuneMix コレクションを開始および停止する

TuneMix コレクションの再生を開始する前に、コレクションを作成する必要があります ([TuneMix コレクションを作成およびカスタマイズする, 17 ページ](#))。


TuneMix の機能を使用すると、お気に入りの音楽チャンネルをミックスしてカスタムメイドのリスニング体験をつくることができます。

- 1  > **SiriusXM** > **TUNEMIX** の順に選択します。
- 2 TuneMix コレクションを選択します。
ステレオは TuneMix コレクションの再生を開始します。
- 3 TuneMix コレクションの再生を停止するには、 > **チャンネル**の順に選択し、**チャンネル**を選択します。
ステレオは TuneMix コレクションの再生を停止して、選択したチャンネルの再生を開始します。

TuneMix コレクションを作成およびカスタマイズする

独自の TuneMix コレクションをステレオで 10 個まで作成できます。

注：TuneMix コレクションには、お気に入りの SiriusXM 音楽チャンネルが 2 つ以上含まれている必要があります。

- 1  > **SiriusXM** > **SXM SETTINGS** > **Tunemix のセットアップ**の順に選択します。
- 2 TuneMix コレクションを選択します。
- 3 チャンネルを選択してチェックボックスをオンにし、TuneMix コレクションに追加します。
- 4 TuneMix コレクションのカスタマイズが完了したら、**<**を選択します。
- 5 カスタマイズする TuneMix コレクションごとに手順 2～4 を繰り返します。

SportsFlash 機能

⚠ 警告

操船中にステレオやメディアプレーヤーを使用する場合は注意してください。注意が散漫になり、事故が発生して重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

SportsFlash 機能は、ライブゲーム中にお気に入りチームのキープレイを知らせます。エキサイティングなプレイが出ると、SportsFlash アラートが表示され、その放送にチューニングしてプレイを聞くことができます。SportsFlash アラートが終了したら、前のチャンネルに戻るかそのゲームにチューニングしたままにするかを選べます。


注：SportsFlash アラートを受信するには、アラートに含めたいスポーツリーグの実況スポーツチャンネルがサブスクリプションパッケージに含まれている必要があります。

追加した SportsFlash アラートを有効、無効、または削除できます ([アラートを管理する, 17 ページ](#))。

注：SportsFlash はゲームアラートとは異なります。SportsFlash アラートは、ゲーム中にエキサイティングなプレイが起きると知らせてくれます。それに対して、ゲームアラートはゲームの開始を知らせてくれます。


注：SportsFlash 機能は SXV300 チューナー（別売）が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧ください、そのチューナーモジュールで利用できる機能について確認してください。

SportsFlash アラートを受信するチームを追加する

- 1  > SiriusXM > SPORTSFLASH > チームの選択の順に選択します。
- 2 スポーツリーグを選択します。
- 3 チームを選択してチェックボックスをオンにし、SportsFlash アラートを追加します。
- 4 SportsFlash アラートのリストに追加する各チームに対して、手順 2 と 3 を繰り返します。

SportsFlash 優先チームを変更する

SportsFlash アラートを設定した複数のチームが同時にプレイをしている場合は、好きなチームから先に SportsFlash アラートを聞けるようチーム優先度を調整できます。

- 1  > SiriusXM > SPORTSFLASH > 優先チームの順に選択します。
選択した SportsFlash チームのリストが優先度順に表示されます。
- 2 チームを選択して、リスト内の 1 つ上の優先レベルに移動します。
- 3 優先度リストが希望どおりの順位になるまで、順番を変えたいチームごとに前の手順を繰り返します。

TuneStart™ 機能を有効にする

TuneStart 機能を有効にしてプリセットチャンネルにチューニングすると、現在の曲を、ライブ放送で現在の位置から開始するのでなく、曲の最初から開始します。

注：TuneStart 機能は、プリセットチャンネルにチューニングしているときだけ使用できます。TuneStart 機能は SXV300 チューナー（別売）が対応しています。他のチューナーも対応していますが、機能が制限される場合があります。お持ちの SiriusXM チューナーに付属のユーザーマニュアルをご覧ください、そのチューナーモジュールで利用できる機能について確認してください。

必要に応じて、 > SiriusXM > SXM SETTINGS > TUNESTART の順に選択します。

TuneStart 機能により曲が最初から開始すると、進捗バーが表示されて、再生モードと同じコントロールを使用してトラックを操作できます ([再生モードを使用する, 15 ページ](#))。

ペアレンタルコントロール

ペアレンタルコントロール機能を使用すると、成人向けコンテンツを含むチャンネルなど、特定の SiriusXM チャンネルへのアクセスを制限できます。ペアレンタルコントロール機能が有効になっている場合、ロックされたチャンネルにチューニングするには、パスコードを入力する必要があります。4 桁のパスコードを変更することもできます。

ペアレンタルコントロールをロック解除する


ペアレンタルコントロールのロックを解除して、ロックされたチャンネルにアクセスできます。

- 1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > SiriusXM > ペアレンタルの順に選択します。
- 2 ロック解除をクリックします。
- 3 パスコードを入力します。

ヒント：初期設定のパスコードは 0000 です。

ペアレンタルコントロールは、車両をオフにするか、再度ロックするまでロック解除されたままになります。


チャンネルをロックする

- 1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > SiriusXM > ペアレンタルの順に選択します。
- 2 ロック解除チェックボックスをオンにします。
- 3 パスコードを入力します。

ヒント：初期設定のパスコードは 0000 です。

- 4 ロック / ロック解除を選択します。

利用可能なチャンネルのリストが表示されます。



- 5 ロックする 1 つまたは複数のチャンネルを選択し、 を選択します。
- 6 ロック解除チェックボックスをオフにして、ペアレンタルコントロールをロックします。

ペアレンタルコントロールがロックされている間は、ロックされたチャンネルにアクセスできません。ロックされたチャンネルにチューニングするには、ペアレンタルコントロールのロックを解除する必要があります。

ロックされているすべてのチャンネルをクリアする

- 1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > SiriusXM > ペアレンタル > ロック解除の順に選択します。
- 2 パスコードを入力します。
- 3  > SiriusXM > ペアレンタル > ロック状態を全解除の順に選択します。

ペアレンタルコントロールのパスコードを変更する

- 1 SiriusXM ソースを選択した状態で、 > SiriusXM > ペアレンタル > ロック解除の順に選択します。
- 2 パスコードを入力します。
- 3  > SiriusXM > ペアレンタル > PIN の変更の順に選択します。
- 4 画面に表示される手順に従います。

SiriusXM のトラブルシューティング

注意報	説明	解決策
アンテナの確認	ラジオが SiriusXM アンテナの不具合を検出しました。アンテナケーブルが外れているか損傷している可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブルが SiriusXM Connect Vehicle Tuner に接続していることを確認します。 アンテナケーブルに損傷やねじれがないか点検します。ケーブルが損傷している場合は、アンテナを交換します。SiriusXM 製品は、各地域のカーオーディオ販売店または www.shop.siriusxm.com で購入できます。
チューナーのチェック	ステレオが SiriusXM Connect Vehicle Tuner と通信できません。チューナーは接続していないか損傷している可能性があります。	SiriusXM Connect Vehicle Tuner のケーブルがステレオにしっかりと接続されていることを確認します。
電波信号なし	SiriusXM Connect Vehicle Tuner が SiriusXM 衛星信号を受信できません。	<ul style="list-style-type: none"> SiriusXM アンテナが屋外にあり、上空が開けていることを確認します。 SiriusXM アンテナがしっかりと取り付けられていることを確認します。 SiriusXM アンテナの上または横にある障害物を取り除きます。 ケーブルアンテナに損傷やねじれがないか調べます。ケーブルが損傷している場合は、アンテナを交換します。SiriusXM 製品は、各地域のカーオーディオ販売店または www.shop.siriusxm.com で購入できます。 アンテナ取り付けの詳細については、SiriusXM Connect Vehicle Tuner の設置ガイドを参照してください。
サブスクリプションが更新されました	ラジオが SiriusXM サブスクリプションステータスの変更を検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> 任意のボタンを選択してメッセージをクリアします。 サブスクリプションに関するご質問は、www.siriusxm.com にアクセスするか、866-635-2349 にお問い合わせください。
チャンネルは利用できません	ご希望のチャンネルは有効な SiriusXM チャンネルでないか、お聞きになっていたチャンネルはご利用になれなくなりました。このメッセージは、新しい SiriusXM Connect Vehicle Tuner を初めて接続したときに短時間表示されることがあります。	SiriusXM チャンネルのラインナップの詳細は、 www.siriusxm.com をご覧ください。
チャンネルを契約していません	ご希望のチャンネルは SiriusXM サブスクリプションパッケージに含まれていないか、お聞きになっていたチャンネルは SiriusXM サブスクリプションパッケージに含まれなくなりました。	サブスクリプションパッケージの詳細やチャンネルのサブスクライブについては、 www.siriusxm.com にアクセスするか、866-635-2349 にお問い合わせください。
チャンネルがロックされている	ご希望のチャンネルはペアレンタルコントロール機能によってロックされています。	チャンネルのロックを解除するには、マニュアルのペアレンタルコントロールのセクションを参照してください。

SiriusXM データを消去する

入力したすべての SiriusXM ユーザー情報 (お気に入りのチームやアラートなど) をクリアできます。

設定メニューの工場出荷時の設定にリセットオプションを使用して、ステレオをリセットします (更新オプション, 34 ページ)。

注：工場出荷時の設定に戻すと、ステレオ内のすべてのデータ (AM および FM のプリセット、ゾーン設定など) がリセットされ、さらにすべての SiriusXM ユーザー情報が消去されます。


DAB の再生

Apollo RA770 ステレオに MS-DAB100A など、対応するデジタル音声放送 (DAB) モジュールとアンテナを接続すると、DAB 放送局にチューニングを合わせて再生することができます。

DAB 放送は、一部の地域ではご利用になれません。ステレオを対応地域に設定していない場合、DAB ソースはご利用になれません。

チューナーの地域を設定する

DAB 放送局を正しく受信するには、所在している地域を選択する必要があります。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 チューナーの地域を選択します。
- 3 所在している地域を選択します。


DAB 放送局のスキャン

DAB 放送局をスキャンするには、互換性のある DAB モジュールとアンテナ (別売) をステレオに接続する必要があります。




注：DAB 信号は一部の国でのみ放送されているため、チューナーの地域を DAB 信号が放送されている場所に設定する必要があります。

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2  を長押しして、利用できる DAB 放送局をスキャンします。

スキャンが完了すると、検出された最初のアンサンブルの 1 つ目の放送局の再生が開始されます。

注：最初のスキャンの完了後に、再度  を長押しして DAB 放送局を再スキャンできます。再スキャンが完了すると、再スキャンの開始時に聴いていたアンサンブルの最初の放送局の再生が開始されます。



DAB 放送局の変更

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2 必要に応じて、 を長押しして、現地の DAB 放送局をスキャンします。
- 3  または  を選択して放送局を変更します。



現在のアンサンブルの最後に到達したら、次のアンサンブルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。

ヒント： または  を長押しすると、アンサンブルを変更できます。

DAB 放送局をリストから選択する

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2 必要に応じて、 を長押しして、現地の DAB 放送局をスキャンします。
- 3  > DAB > 参照 > 放送局の順に選択します。
- 4 リストから放送局を選択します。

DAB 放送局をカテゴリから選択する

- 1 DAB ソースを選択します。
- 2 必要に応じて、 を長押しして、現地の DAB 放送局をスキャンします。
- 3  > DAB > 参照 > カテゴリの順に選択します。
- 4 リストからカテゴリを選択します。
- 5 リストから放送局を選択します。




プリセット

お気に入りの AM 放送局および FM 放送局をプリセットとして保存して、簡単にアクセスできるようにすることができます。


オプションの SiriusXM チューナーとアンテナが接続されている場合は、お気に入りの SiriusXM チャンネルを保存できます。

ステレオが適切な DAB 機器に接続されており、適切なチューナー地域に設定されている場合は、お気に入りの DAB 放送局を保存できます。([DAB の再生, 21 ページ](#))




放送局またはチャンネルをプリセットとして保存する

- 1 該当するソースを選択した状態で、ステレオを放送局またはチャンネルにチューニングします。
- 2 ダイヤルを長押しして、 を選択します。
ヒント：AM、FM、または SiriusXM ソースの場合は、 を長押しして現在の放送局またはチャンネルをプリセットとして保存します。
ヒント：、ソース名、プリセット > 現在値の保存の順に選択して、現在の放送局またはチャンネルをプリセットとして保存することもできます。

プリセットをリストから選択する

- 1 該当するソースを選択して、ダイヤルを長押しします。
ヒント：★を選択して、プリセットのリストを表示することもできます。
ヒント：、ソースの名前、プリセット > プリセットの表示の順に選択して、プリセットのリストを表示することもできます。
- 2 プリセットを選択します。

プリセットを削除する

- 1 該当するソースを選択して、ダイヤルを長押しします。
- 2  を選択します。
- 3 削除する各プリセット放送局またはチャンネルを選択します。
- 4 プリセットの削除が完了したら、 を選択します。
ヒント：、ソースの名前、プリセット > プリセットを削除またはすべてのプリセットを削除の順に選択して、プリセット放送局またはチャンネルを削除することもできます。

Fusion PartyBus ネットワーク

Fusion PartyBus ネットワーク機能を使用すると、有線接続またはワイヤレス接続を組み合わせ、ネットワーク上の互換性のある複数のステレオを接続できます。

Apollo RA770 ステレオなどの互換性のあるステレオを、ネットワークに接続された他の互換性のあるステレオとグループ化できます。グループ化されたステレオは、グループ内のすべてのステレオで利用可能なソースを共有し、メディア再生を制御できます。これにより、船舶全体でオーディオ体験を同期させることができます。ネットワーク上の互換性のあるステレオまたはリモートコントロールから、必要に応じてグループをすばやく作成、編集、および分割できます。

グループ化されているかどうかにかかわらず、互換性のあるステレオおよびリモートコントロールを使用して、ネットワーク上の任意のステレオで使用可能なスピーカーゾーンの音量を調整できます。

Fusion PartyBus ネットワークを構築するときは、ステレオに付属のインストール手順を参照してください。


ネットワーク上の最大 8 台の Fusion PartyBus ステレオをワイヤレスで接続できます。

グループの作成

グループを作成する前に、互換性のある複数のステレオを Fusion PartyBus ネットワークに接続する必要があります。ネットワークのインストールと設定の詳細については、ステレオに付属のインストールガイドを参照してください。

注：ステレオをグループで使用する場合、いくつかの制限や他の注意事項があります。詳細については、「[グループ化されたステレオソースに関する注意事項, 24 ページ](#)」を参照してください。

1  > グループの順に選択します。

ヒント：どの画面でも  を長押しして、グループメニューを開くことができます。

2 グループ内のプライマリステレオにするステレオの名前を選択します。

3 グループに追加するステレオを選択します。

4 完了を選択します。

ソース画面から、Apollo SRX400 ステレオ、または Fusion PartyBus ネットワーク上の使用が有効になっていないソースなど、ゾーンステレオを除く、グループ内の任意のステレオからのソースを選択できます ([一般設定, 26 ページ](#))。

グループの編集

1  > グループの順に選択します。

2 既存のグループの名前を選択します。

3 グループに追加するステレオ、またはグループから削除するステレオを選択します。

4 完了を選択します。

グループから退出する

Fusion PartyBus グループを退出して、ステレオでローカルソースを再生できます。

1  > グループを選択します。

2 退出する既存のグループの名前を選択します。

3 グループから削除するステレオを選択します。

4 完了を選択します。

グループ化されたステレオ機能

ステレオのグループを作成すると、グループ内のすべてのステレオで、追加の機能とオプションが使用可能になります。

- グループを作成すると、グループ内のすべてのステレオで、1つの同期された表示が共有されます。
- グループ内の任意のステレオからソースを選択でき（ただし、いくつかの制限事項があります（[グループ化されたステレオソースに関する注意事項, 24 ページ](#)）、ソースはグループ内のすべてのステレオで同時に再生されます（[ソースを選択する, 5 ページ](#)）。
- グループ内の任意のステレオで再生の操作（トラックの一時停止やスキップなど）を行うことができ、その操作はグループ内のすべてのステレオに適用されます。
- グループ内の任意のステレオで、任意のゾーンの音量を調整できます。

ヒント：音量を調整するときにすべてを選択すると、グループ内のすべてのステレオの音量を同時に調整できます。

グループ化されたステレオソースに関する注意事項

ネットワーク上で再生するソースを選択する場合は、次の注意事項を確認する必要があります。

- Apollo SRX400 などのゾーンステレオは、グループを作成または結合して、他のステレオからのソースを制御および再生できますが、そのソースをグループと共有することはできません。
- グループ化されたステレオと AirPlay ソースを共有することはできません。AirPlay 2 ソフトウェアを使用すると、ネットワーク上の複数のステレオでコンテンツを再生できますが、ステレオはグループ化できません（[Apple AirPlay, 13 ページ](#)）。
- ほとんどのソースで共有を無効にするには、ソースのグループが有効設定を変更します。無効にすると、グループ化されたステレオからのソースを選択できなくなります（[一般設定, 26 ページ](#)）。
- データネットワーク経由でオーディオソースをストリーミングする場合、同期されたオーディオにわずかな遅延が発生します。この遅延は、外部オーディオソースを使用している場合にも顕著になる場合があります。
 - ステレオと光出力接続されたテレビを使用しており、テレビのスピーカーを使用している場合、テレビのスピーカーからのオーディオとグループ化されたステレオでストリーミングされた光オーディオの間に遅延が発生します。
 - ラジオ局を同期し、ネットワーク接続されていないステレオで同じラジオ局を選局すると、ネットワーク接続されていないステレオからのオーディオと、グループ化されたステレオでストリーミングされたラジオ局からのオーディオの間に遅延が発生します。
 - この遅延をなくすには、ソースのグループが有効設定を変更します。ただし、ソースをグループ化したステレオと共有することはできません（[一般設定, 26 ページ](#)）。

注：ステレオがグループの一部である場合は、設定を変更できません。設定を変更するには、ステレオをグループから削除する必要があります。

グループの同期化

デフォルトでは、グループ内のステレオをオフにしても、作成したグループは維持されません。グループに追加されている単一のステレオをオフにすると、それはグループから離脱します。グループ内のプライマリステレオをオフにすると、そのグループは解体されます。グループ同期を有効にすると、ステレオをオフにした後もグループメンバーシップを保持できます。グループ同期の動作は、ステレオのオン / オフの切り替え方法によって異なります。

- ステレオの電源ボタンまたはイグニッションワイヤー（赤いワイヤー）の物理的スイッチを使用して、同期化されたステレオの電源をオン / オフにすると、グループ内の同期化されたステレオすべてが同時にオン / オフになります。これは、そのステレオがグループ内のプライマリステレオであるかどうかにかかわらず、グループ内の同期されたすべてのステレオに適用されます。
注：ステレオの電源メニューからすべてオフを選択すると、グループに属していない場合やグループ同期が有効になっている場合でも、ネットワーク上のすべてのステレオがオフになります。
- 同期化されたステレオのオン / オフを、電源ワイヤー（黄色のワイヤー）の物理的スイッチを使用して切り替えると、グループ内の他の同期化されたステレオは次のように異なった動作をします。
 - 同期されたステレオがグループ内のプライマリステレオである場合、それを電源ワイヤーの物理的スイッチを使用してオフにすると、グループ内の他の同期されたステレオはオンのままグループから離脱します。プライマリステレオの電源を再びオンにすると、同期された他のステレオはグループに再加入します。
 - 同期されたステレオがグループ内のプライマリステレオではない場合、それを電源ケーブルの物理的スイッチを使用してオフにしても、グループ内の他の同期されたステレオはすべてオンでありグループ化されたままです。再びオンにすると、そのステレオはグループに再加入します。

グループ同期を有効にする

グループ同期設定を有効にする前に、既存のグループからステレオを削除する必要があります。ステレオがグループの一部である場合は、設定を更新できません。

この設定は、電源を入れ直した後でもグループ設定を保持するようにしたい各ステレオで有効にする必要があります。

1  > 設定の順に選択します。

2 **電源オプション** > **グループ同期**の順に選択します。

このステレオでは、電源を入れ直してもグループ設定が保持されます。

3 必要に応じて、別のステレオについてもこの手順を繰り返します。

注：同期を正しく機能させるには、すべてのネットワークステレオでグループ同期を有効にする必要があります。

一般設定

注：ステレオがグループ内にある場合は、そのステレオで設定を変更することはできません。

≡ > 設定の順に選択します。

注：チェックボックスにチェックが入っているとき、オプションはオンです。チェックボックスにチェックが入っていないとき、オプションはオフです。

デバイス名: このデバイスの名前を設定します。

言語: デバイスで使用する言語を設定します。

チューナーの地域: FM と AM のソースで使用する地域を設定します。

この設定は、DAB および SiriusXM ソースを設定する場合にも必要です。

テレミュートの設定: ワイヤーハーネス内の TELEMUTE ケーブルで信号を検出したときのステレオの動作を設定します。これは通常、Fusion ハンドヘルドマイクのボタンを押したまま Aux1 ソースに変更するために使用されます。また、ハンズフリー携帯電話キットに接続されている場合は、オーディオをミュートするか、Aux1 ソースに変更するかを選択できます。詳細については、Fusion ハンドヘルドマイクまたはハンズフリー携帯電話キットの指示を参照してください。

注：この設定は、Bluetooth テクノロジーを使用してステレオに接続されている電話には影響しません。

電源オプション: 電力節約モードなどの電力設定を調整します ([電源オプション, 29 ページ](#))。

検索: Fusion Alpha Search Technology (FAST) を有効にします。トラックを文字または数字ですばやく検索できるようにします。FAST メニューを有効にする数字を選択して、選択した数を超えるアイテムが音楽デバイスに含まれている場合にこのメニューを有効にできます。

ゾーン: スピーカーゾーンを構成できます ([スピーカーゾーンの設定, 26 ページ](#))。

ソース: ステレオ上のソースの有効化、無効化、および名前指定を行うことができます ([ソースの設定, 30 ページ](#))。

ネットワーク: Fusion PartyBus ネットワーク設定を構成できます ([ネットワークの設定, 30 ページ](#))。

更新: 接続されている USB フラッシュドライブ上の適切な更新ファイルを使用して、ステレオまたは接続されているデバイスを更新します ([更新オプション, 34 ページ](#))。

注：USB フラッシュドライブにロードされた更新ファイルを使用せずに、モバイルデバイスの Fusion-Link アプリを使用してソフトウェアを更新する場合、このメニューを使用する必要はありません ([Fusion Link アプリを使用したソフトウェアの更新, 38 ページ](#))。

更新 > 工場出荷時の設定にリセット: すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

バージョン情報: ステレオのソフトウェアバージョン情報を表示します。

スピーカーゾーンの設定

内蔵アンプを無効にする

スピーカーを直接ゾーン 1 とゾーン 2 に接続しない場合は、内蔵アンプを無効にすると消費電力を削減できます。

- 1 **≡ > 設定の順に選択します。**
- 2 **ゾーン**を選択します。
- 3 **内部アンプオン**を選択して、チェックボックスをオフにします。


ホームゾーンの設定

ホームゾーンは、ダイヤルを回したときにデフォルトで調整されるスピーカーゾーンです。

- 1 **≡ > 設定の順に選択します。**
- 2 **ゾーン > ホームゾーンを割り当てます**を選択します。
- 3 **ゾーン**を選択します。

ソースとゾーンの音量レベルを同期する

1 つまたはすべてのゾーンの音量レベルを、Bluetooth、AirPlay、UPnP ソースなどのソースデバイスと同期できます。


- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 **ゾーン > スマートフォンのボリュームを同期**の順に選択します。
- 3 **ゾーンまたはすべて**を選択します。

接続されているソースの音量を調整すると、選択したゾーンの音量も調整されます。

電源オン音量制限を調整する

デフォルトでは、ステレオをオンにしたとき、オフにしたときよりも音量が大きくなっている場合、音量が自動的にレベル 12 に下げられます。ステレオをオンにしたとき、それよりも大きい音量を維持したい場合、またはそれよりも小さい音量に制限したい場合は、この制限を調整できます。

注：この設定は、ステレオのすべてのゾーンに適用されます。


- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 **ゾーン > 電源オン音量制限**の順に選択します。
- 3 音量制限を調整します。

個々のゾーンの音量レベルを維持する


個々のゾーンの音量レベルを調整して、一部のゾーンの音量が他のゾーンよりも大きくなるようにした場合、すべてのゾーンの音量を調整すると、個々のゾーンの音量設定がすべて影響を受けます。デフォルトでは、すべてのゾーンの音量を 00 に調整すると、すべてのゾーンの音量レベルのセットが 00 になり、個々のゾーンの音量調整がすべてリセットされます。音量比を維持オプションを有効にすると、すべての音量を 00 に調整したとき、個々のゾーンの音量調整を保持できます。

注：この設定は、ステレオまたは接続されている ERX リモコンの音量調整にのみ適用されます。接続されているチャートプロッターまたは NRX リモコンを使用してステレオの音量を調整しても、音量レベルはリセットされます。

ヒント：この設定を有効にした場合に最適な結果を得るには、電源投入時の音量制限を 24 に設定する必要があります (電源オン音量制限を調整する, 27 ページ)。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 **ゾーン > 音量比を維持**を選択します。

速度に基づく自動音量調整を有効にする

- 1  > 設定 > ゾーン > 速度と音量の比率 > 有効の順に選択します。
- 2 必要に応じて、設定を更新して速度ソースを選択します (自動音量調節設定, 27 ページ)。

自動音量調節設定

 > 設定 > ゾーン > 速度と音量の比率を選択します。

有効: 自動音量調節機能を有効にします。

速度ソース: 速度を決定するためにステレオが使用するソースを設定します (速度ソース情報, 28 ページ)。

最高/最低速度: 選択した速度ソースの予想される最高および最低速度の範囲を設定します。最小設定は、ダイヤルを回して設定したレベルで音量が再生される速度を示します。最大設定は、音量を上げる設定で設定された最大レベルで音量が再生される速度を示します。

ヒント：これらの値は、エンジンまたはセンサーから通常予想される速度で設定し、必要に応じて調整する必要があります。

音量を上げる: 選択した速度ソースが最高/最低速度設定で設定された最高速度に達したときの、各ゾーンの合計音量増加を設定します。このレベルを高く設定するほど、設定された最高速度に近づくときの音量が大きくなります。

注：速度に合わせて音量が上がるとき、実際の音量出力は変化しますが、音量レベルインジケータバーと数字は変化しません。

カスタムユニット: 船舶の速度または風速を示すために使用する測定単位を変更します。

速度ソース情報

≡ > 設定 > ゾーン > 速度と音量の比率 > 速度ソースの順に選択します。

エンジン回転数: サポートされている NMEA 2000 エンジンが提供する RPM 読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度までエンジン回転数が上昇するのに従い、音量が増加します。サポートされている複数のエンジンが接続されている場合、ステレオはすべてのエンジン RPM 読み取り値の平均値を使用します。

SOG: サポートされている NMEA 2000GPS アンテナまたは内蔵 GPS アンテナ付きチャートプロッターが提供する、対地速度 (SOG) 読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで SOG が上昇するのに従い、音量が増加します。

SOG: サポートされている NMEA 2000 航行スピードセンサーによって提供される対水速力 (STW) の読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで STW が上昇するのに従い、音量が増加します。

風速: サポートされている NMEA 2000 風速センサーが提供する風速の読み取り値を使用します。設定された最小速度から設定された最大速度まで風速が上昇するのに従い、音量が増加します。

ゾーンを無効にする

未使用のゾーンを無効にして、オーディオレベルのページから削除できます。ゾーンが無効になっていると、そのゾーンの設定を変更することはできません。ゾーン 1 を無効にすることはできません。

- 1 **≡** > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 有効なゾーンを選択して、チェックボックスをオフにします。

ゾーン名を設定する

スピーカーゾーンに名前を設定して、見分けやすくすることができます。

- 1 **≡** > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 ゾーン名を選択し、[オプション] を選択します。
 - ・ リストから定義済みの名前を選択します。
 - ・ カスタム名を選択し、ゾーンに一意の名前を入力します。

ゾーンをリンクする

ゾーン 1 と 2 をリンクして、音量レベルを同期したままにすることができます。リンクしたゾーンのどちらかの音量を調整すると、両方のゾーンの音量に影響が及びます。

- 1 **≡** > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーン > ゾーン 2 > ゾーン 1 へリンクを選択します。

注：ゾーン 1 と 2 をリンクした後は、各ゾーンの音量を別々に調整することはできません。

ゾーン 3 または 4 の音量調節を接続されたアンプからできるようにする

デフォルトでは、ゾーン 3 と 4 の音量はステレオによって制御されます。接続されたアンプを使用しても、これらのゾーンの音量を制御できます。


- 1 **≡** > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーン 3 またはゾーン 4 を選択します。
- 4 音量調節を選択して、チェックボックスをオフにします。

ゾーンからのオーディオ信号は、固定ラインレベル出力として最大音量でアンプに送信されます。


サブウーファーフィルタを調整する

サブウーファーフィルタ設定を使用して、各ゾーンのサブウーファーのカットオフ周波数を制御できます。これにより、スピーカーとサブウーファーによって作り出されるサウンドの融合を増進できます。選択した周波数を超えるオーディオ信号はサブウーファーに送られません。

注：Fusion-Link アプリを使用して DSP 設定がゾーンに適用されている場合、この設定をステレオで変更することはできません。

- 1  > 設定の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーンを選択します。
- 4 %1 のサブ周波数を選択します。
- 5 周波数を選択します。

ゾーンの追加のオーディオ設定を調整する

- 1  > 設定の順に選択します。
 - 2 ゾーンを選択します。
 - 3 ゾーンを選択します。
 - 4 オプションを選択します (複数可)。
 - このゾーンの最大出力音量を制限するには、**ボリューム制限**を選択してレベルを調整します。
 - このゾーンの左右のスピーカーバランスを調整するには、**バランス**を選択してバランスを調整します。
 - このゾーンに関連付けられている外部アンプへの出力を減らすには、**外部アンプゲイン**を選択し、ゲインレベルを調整します。
 - このゾーンに関連付けられている内部アンプへの出力を減らすには、**内部アンプゲイン**を選択し、ゲインレベルを調整します。
- 注：この設定は、内部アンプに関連付けられたゾーンでのみ使用できます (通常、ゾーン 1 とゾーン 2)。
- このゾーンの出力をステレオからモノラルに変更するには、**モノラル**を選択します。
- 注：モノラル設定は、聴く位置が他のスピーカーよりも特定のスピーカーに近く、そのチャンネルだけが主に聞こえる場合に便利です。モノラル設定では、ゾーン内の各スピーカーの両方のチャンネルが結合されます。

電源オプション

 > 設定 > 電源オプションの順に選択します。

節電: バッテリー電力を節約するため、1 分間何もしないと LCD バックライトはオフになります。

NRX 電源: NRX ネットワークに接続されていないオプションの NMEA 2000 シリーズ有線リモコンにステレオが提供する電源のオン / オフを切り替えます ([オプションの有線 NRX リモートコントロールの設定, 36 ページ](#))。

グループ同期: 電源を入れ直した後もグループ設定を保持するようにステレオを有効にします ([グループの同期化, 25 ページ](#))。

ジェスチャー画面: メディアの再生時に再生コントロールを非表示にして、トラック情報とジャケットのみを画面に表示します ([ジェスチャー画面, 4 ページ](#))。

ソースの設定

 > **設定** > **ソース**の順に選択し、設定するソースの名前を選択します。

注：このメニューには、システム全体のソースの設定が含まれています。ほとんどのソースには、ソース固有の設定もあります。ソース固有の設定の詳細については、このマニュアルの、各ソースのセクションを参照してください。

ステレオのすべてのソースで、すべてのオプションを使用できるわけではありません。


ソースが有効: このステレオのソースを有効または無効にします。ソース選択の画面に表示されないように、ステレオで使用しないソースを無効にできます。

グループが有効: ソースがグループ内の他のステレオに接続されている場合に、ソースの共有を有効または無効にします ([Fusion PartyBus ネットワーク, 23 ページ](#))。Optical など、一部のソースの共有は無効にしてください。Fusion PartyBus ネットワーク経由のストリーミングによりわずかなオーディオ遅延が生じて、状況によっては望ましくないためです。

ソース名: このステレオで表示される、ソースの名前を変更します。これは、グループ内の他のステレオにどのようにソースが表示されるかにも影響します。

ネットワークの設定

ヒント：任意の画面でネットワークステータスアイコンを選択すると、[ネットワーク設定] メニューを開くことができます。

 > **設定** > **ネットワーク**の順に選択します。

Wi-Fi オフ: すべての Wi-Fi ワイヤレス機能をオフにします。

Wi-Fi クライアント: ステレオをワイヤレスクライアントとして設定し、他のデバイスにワイヤレスで接続できるようにします。

Wi-Fi アクセスポイント: ステレオをワイヤレスアクセスポイントとして設定します ([Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する, 31 ページ](#))。

詳細: DHCP や SSID など、ワイヤレスおよび有線の詳細な設定ができます ([高度なネットワーク設定, 32 ページ](#))。

リセット: このステレオのすべてのネットワーク設定を工場出荷時の初期設定値にリセットします。


Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントに接続する

このデバイスは、ルーター上のワイヤレスアクセスポイント、またはネットワーク上の互換性のある Fusion PartyBus デバイスに接続できます。このデバイスは、アクセスポイントでサポートされている場合、Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用して接続できます ([Wi-Fi Protected Setup を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続, 30 ページ](#))。このデバイスは、対応する Apple デバイスを使用した Apple アクセサリ構成 (WAC) を使用して接続できます ([Apple ワイヤレスアクセサリ構成を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続, 31 ページ](#))。

1  > **設定** > **ネットワーク** > **Wi-Fi クライアント** > **SSID** の順に選択します。

範囲内のワイヤレスアクセスポイントのリストが表示されます。

2 Fusion PartyBus ワイヤレスアクセスポイントを選択します。

3 必要に応じて、**パスワード**を選択して、パスワードを入力し、 を選択します。

4 **保存**を選択します。

注：ステレオをワイヤレスアクセスポイントに接続した後は、有線ネットワーク接続を使用できません。

Wi-Fi Protected Setup を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続

ワイヤレスアクセスポイントでサポートされている場合、手動で SSID を選択してパスワードを入力する代わりに、Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用してこのデバイスを接続できます。

注：WPS を有効にする方法については、ワイヤレスアクセスポイントのマニュアルを参照してください。

1  > **設定** > **ネットワーク** > **Wi-Fi クライアント** > **WPS** の順に選択します。

2 ワイヤレスアクセスポイントで WPS 接続を有効にします。

注：ステレオをワイヤレスアクセスポイントに接続する場合、有線ネットワーク接続は使用できません。

Apple ワイヤレスアクセサリ構成を使用したワイヤレスアクセスポイントへのデバイスの接続

Apple デバイスでサポートされている場合、SSID を手動で選択してパスワードを入力する代わりに、ワイヤレスアクセサリ構成 (WAC) を使用してこのデバイスを接続できます。

注： WAC を使用する方法については、Apple デバイスのマニュアルを参照してください。

1  > 設定 > ネットワーク > Wi-Fi クライアント > WAC の順に選択します。

2 接続を完了するには、互換性のある Apple デバイスを使用します。

注：ステレオをワイヤレスアクセスポイントに接続する場合、有線ネットワーク接続は使用できません。

Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する

追加 Fusion PartyBus デバイスまたはスマートフォンを無線で Fusion PartyBus デバイスに接続する前に、1 台のデバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する必要があります。ネットワークにワイヤレスルーターまたは他のワイヤレスアクセスポイントを設定した場合、これは必要ありません。

注：ネットワークにルーターがインストールされている場合は、このデバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定しないでください。これを行うと、DHCP の競合が発生し、ネットワークパフォーマンスが低下する可能性があります。

1  > 設定 > ネットワーク > Wi-Fi アクセスポイントの順に選択します。

2 次のの中からオプションを選択します。

- 工場出荷時に割り当てられたデフォルトのアクセスポイント設定を使用するには、**初期設定を使用**を選択し、デバイスがネットワーク設定を保存するまで待ちます。

注：デフォルト設定を保存したら、**ネットワークメニュー**の一番下までスクロールして、アクセスポイントに割り当てられている SSID とパスワードを表示できます。

- アクセスポイントの名前とセキュリティ設定をカスタマイズするには、**詳細**を選択して次の手順に進みます。

3 **SSID** を選択して、ワイヤレスアクセスポイントのデフォルトの SSID または名前を変更します。

4 **AP セキュリティ** : %1 を選択して、アクセスポイントのセキュリティタイプを変更します。

注：WPA2 パーソナル AP セキュリティ : %1 設定を使用することを強くお勧めします。これは最も一般的に使用されている安全なワイヤレスセキュリティプロトコルです。

5 **パスワード** を選択して、アクセスポイントのデフォルトのパスワードを変更します。

6 必要に応じて、**国名** : %1 を選択して、お住いの地域を選択します。

7 **チャンネル** : %1 を選択して、アクセスポイントのチャンネル範囲を選択します (オプション)。

8 **保存** を選択します。

ワイヤレスアクセスポイントの設定はいつでも ([ワイヤレスアクセスポイントの設定, 32 ページ](#)) 調整できます。

注：ステレオをワイヤレスアクセスポイントとして設定する場合、追加の設定を変更せずに有線ネットワーク接続を使用することもできます。有線ネットワークとワイヤレスネットワークはブリッジされます。

ワイヤレスアクセスポイントの設定

☰ > 設定 > ネットワーク > 詳細 > Wi-Fi アクセスポイントの順に選択します。

注：設定を変更するには、デバイスをワイヤレスアクセスポイントに設定する必要があります ([Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する, 31 ページ](#))。

SSID: ネットワークの SSID (名前) を設定します。

AP セキュリティ : %1: アクセスポイントで使用するワイヤレスセキュリティプロトコルのタイプを設定します。

注：WPA2 パーソナルを使用して AP セキュリティ : %1 を設定することを強くお勧めします。これは最も一般的に使用されている安全なワイヤレスセキュリティプロトコルです。

パスワード: アクセスポイントのパスワードを設定します。AP セキュリティ : %1 設定がなしに設定されている場合は使用できません。

国名 : %1: ステレオが配置されている地域を設定します。地域によっては、ワイヤレススペクトル上の異なるチャンネルを使用する場合があるため、ローカルのワイヤレスデバイスと最適に対応するように設定してください。

チャンネル : %1: お住まいの地域で使用可能なスペクトルの高範囲、低範囲、または中範囲にあるチャンネルのグループを使用するようアクセスポイントを設定します。ブロードキャストアクセスポイントの数が少ない範囲にチャンネルを設定すると、パフォーマンスが向上する場合があります。

DHCP サーバー: デバイスをワイヤレスアクセスポイントやネットワーク上の DHCP サーバーとして機能するように設定します ([DHCP 設定, 33 ページ](#))。

WPS: Wi-Fi Protected Setup (WPS) 接続を開始します。WPS ボタンまたは設定のあるデバイスは、WPS 接続が有効になると、このステレオのアクセスポイントに接続できます。

注：WPS を選択した後、アクセスポイントに接続するまで最大 2 分かかる場合があります。

高度なネットワーク設定

DHCP 範囲の定義や静的 IP アドレスの設定など、Fusion PartyBus デバイスでは高度なネットワークタスクを実行できます。

☰ > 設定 > ネットワーク > 詳細の順に選択します。

DHCP クライアント: デバイスを DHCP クライアントとして設定します。これは、DHCP サーバーまたはワイヤレスアクセスポイントとして設定されていないすべてのデバイスのデフォルト設定です。

静的 IP: デバイスの静的 IP アドレスを設定できます ([静的 IP アドレスを設定する, 34 ページ](#))。

Garmin® Marine Network: Garmin Marine Network でデバイスを使用できるようにして、接続した Garmin チャートプロッターでデバイスを表示および制御できるようにします ([GarminMarine Network で使用するためのステレオ設定, 33 ページ](#))。

詳細: ネットワーク構成に関する情報を表示します。

Fusion PartyBus デバイスを DHCP サーバーとして設定する


ネットワークスイッチまたはワイヤレスアクセスポイントを使用して 2 台以上のネットワークデバイスを接続したが、ルーターを設置していない場合は、1 台の Fusion PartyBus ステレオだけを DHCP サーバーとして設定する必要があります。

注記

ネットワーク上に複数の DHCP サーバーが存在すると、ネットワーク上のすべてのデバイスが不安定になり、パフォーマンスが低下します。

注：このステレオを Wi-Fi アクセスポイントとして設定している場合、デフォルトでは 1 台の DHCP サーバーとして設定されており、設定を変更する必要はありません (Fusion PartyBus デバイスをワイヤレスアクセスポイントとして設定する, 31 ページ)。

注：Fusion PartyBus デバイスは、ネットワーク上で DHCP サーバーなしで相互に通信できますが、最初に電源をオンにしたときに、デバイス同士の接続に時間がかかります。最良の結果を得るため、1 台の適切に設定された DHCP サーバーをネットワーク上に配置することを強くお勧めします。

1 デバイスがイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続されている場合、 > **設定** > **ネットワーク** > **Wi-Fi オフ** の順に選択します。

ステレオを有線 DHCP サーバーとして設定する前に、Wi-Fi をオフにする必要があります。

2 デバイスがイーサネットケーブルを使用してネットワークに接続されている場合、**静的 IP** > **保存** の順に選択します。

静的 IP アドレスを使用するようにステレオを設定してから、有線 DHCP サーバーとして設定する必要があります。

3 **詳細** > **DHCP サーバー** > **DHCP 有効** > **保存** の順に選択します。

DHCP サーバーの IP アドレス範囲を構成できます (DHCP 設定, 33 ページ)。

DHCP 設定

 > **設定** > **ネットワーク** > **詳細** > **DHCP サーバー** の順に選択します。

DHCP 有効: デバイスをネットワーク上の DHCP サーバーとして設定します。

開始 IP : %1: DHCP サーバーの IP アドレス範囲の最初の IP アドレスを設定します。

終了 IP : %1: DHCP サーバーの IP アドレス範囲の最後の IP アドレスを設定します。

GarminMarine Network で使用するためのステレオ設定

互換性のある Garmin チャートプロッターを使用してステレオを表示および制御するために、このステレオを Garmin Marine Network に接続できます。

注：GarminMarine Network で使用するためにステレオを設定する場合は、Garmin および Fusion デバイスのみの使用に制限されます。このステレオでは、サードパーティー製のルーター、ストレージデバイス、またはその他のネットワーク製品を直接使用できない場合があります。

ステレオが Garmin Marine Network に接続されている場合、接続されている Garmin チャートプロッターのワイヤレスアクセスポイントにスマートフォンを接続し、Fusion-Link アプリを使用してステレオを制御できます。

Wi-FiMarine Network で使用するように設定されたステレオでは Garmin ネットワークは使用できません。この機能は、有線ネットワーク接続のみと互換性があります。

 > **設定** > **ネットワーク** > **Wi-Fi オフ** > **Garmin® Marine Network** の順に選択します。

静的 IP アドレスを設定する

ステレオが DHCP サーバーとして構成されると、自動的に IP アドレス 192.168.0.1 が割り当てられます。この IP アドレスは変更できます。

ステレオがネットワーク上のクライアントであり、DHCP サーバーがステレオに IP アドレスを自動的に割り当てないようにする場合は、静的 IP アドレスを設定します。

注：ネットワーク上のすべてのデバイスに固有の IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上の IP アドレスと同じ静的 IP アドレスを選択すると、デバイスは正常に動作しません。

1  > **設定** > **ネットワーク** > **詳細**の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ステレオがイーサネットケーブルを使用して接続されている場合は、**イーサネット IP** > **静的 IP** の順に選択します。
- ステレオがワイヤレスアクセスポイントまたはワイヤレスクライアントとして設定されている場合は、**Wi-Fi IP** を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- IP アドレスを設定するには、**IP** を選択して IP アドレスを入力します。
- サブネットマスクを設定するには、**マスク : %1** を選択し、サブネットマスクを入力します。
注：サブネットマスクは、正しく機能するため、ネットワーク上の他のすべてのデバイスと一致しなければなりません。一般的なサブネットマスクは 255.255.255.0 です。
- デフォルトゲートウェイ IP アドレスを設定するには、**ゲートウェイ**を選択してゲートウェイ IP アドレスを入力します。

注：デフォルトゲートウェイは通常、ネットワーク上の DHCP サーバーの IP アドレスとして設定します。

4 **保存**を選択します。

ネットワーク設定をリセットする

このステレオのすべてのネットワーク設定を工場出荷時の初期設定にリセットできます。

1  > **設定**を選択します。

2 **ネットワーク** > **詳細** > **リセット** > **はい**を選択します。

更新オプション

注記

ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注：

- USB フラッシュドライブにロードされた更新ファイルを使用して、デバイスソフトウェアを更新できます (USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 37 ページ)。
- ステレオがワイヤレスネットワークに接続されている場合は、USB フラッシュドライブにロードされた更新ファイルを使用する代わりに、モバイルデバイス上の Fusion-Link アプリを使用してソフトウェアを更新できます (Fusion Link アプリを使用したソフトウェアの更新, 38 ページ)。
- デバイスは、更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。

 > **設定** > **更新**を選択します。

ステレオ: 接続されている USB フラッシュドライブの、有効なソフトウェア更新ファイルを使用してステレオを更新します (USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 37 ページ)。

NRX リモート: NMEA 2000 または NRX ネットワークに接続されているオプションの NMEA 2000 リモートを更新します。


ERX リモート: 接続されている USB フラッシュドライブ上の、有効なソフトウェア更新ファイルを使用して、ETHERNET ポートまたは Fusion PartyBus ネットワークに接続されているオプションの ERX リモートを更新します (USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する, 37 ページ)。

DAB モジュール: SIRIUS XM ポートに接続されているオプションの DAB モジュールを更新します。



追加のステレオコントロールオプション

Garmin ウォッチに接続する

ウォッチの詳細については、garmin.com/manuals でウォッチのマニュアルを参照してください。

- 1 ウォッチのマニュアルの指示に従って、Fusion-Link Lite™ストアからウォッチに Connect IQ™アプリをインストールします。
- 2 ステレオで **BLUETOOTH** ソースを選択します。
- 3  > **BLUETOOTH** > **コネクション** > **検出可能**を選択します。
ステレオは 2 分間検出可能になります。
- 4 ウォッチをステレオから 3 m (10 ft.) 内に置きます。
注：ペアリング中は、他の ANT®デバイスから 10 m (33 ft) 以上離します。
- 5 ウォッチで Fusion-Link Lite アプリを開きます。
アプリをウォッチで初めて開くと、ウォッチは自動的にステレオとペアリングされて接続します。別のステレオとペアリングしたい場合は、Fusion-Link Lite アプリで **Settings** > **Pair new** の順に選択します。
- 6 ウォッチの Fusion-Link Lite アプリを使用して、オーディオ再生を操作します。
デバイスはペアリングされると、電源がオンになったとき範囲内にあれば、自動的に接続し、アプリはウォッチで開きます。

ARX70 リモートコントロールに接続する

- 1 ステレオで **BLUETOOTH** ソースを選択します。
- 2  > **BLUETOOTH** > **コネクション** > **検出可能**の順に選択します。
- 3 ARX70 リモートコントロールをステレオの 10 m (33 ft.) 以内に置きます。
注：ペアリング中は、他の ANT デバイスから 10 m (33 ft) 以上離します。
- 4 ARX70 リモートコントロールで、ステータス LED が緑と赤で交互に点滅するまで  を長押しします。
リモートコントロールがそのステレオを検索します。リモートコントロールのペアリングが正常に終了すると、ステータス LED が短く緑で点灯してから消灯します。
リモートコントロールがステレオを検出できない場合は、ステータス LED が短く赤で点灯してから消灯します。

Fusion-Link ワイヤレスリモートコントロールアプリ

互換性のある Apple または Android デバイスの Fusion-Link リモコンアプリを使用して、ステレオ音量の調整、ソースの変更、再生の制御、ラジオプリセットの選択と管理、および一部のステレオ設定を調整できます。アプリを使用して、ステレオの DSP プロフィールを設定および構成できます。アプリを使用して、ステレオのソフトウェアを更新できます。

アプリは、モバイルデバイスへのワイヤレス接続を使用してステレオと通信します。アプリを使用するには、Bluetooth または Wi-Fi 技術を使用して、対応デバイスをステレオに接続する必要があります。

ステレオが Wi-Fi アクセスポイントでネットワークに接続されている場合、アプリはネットワークを使用してステレオと通信し、Bluetooth 接続よりも広い通信範囲を得ることができます。

注：Bluetooth 接続を使用してステレオのソフトウェアを更新することはできません。ステレオソフトウェアをワイヤレスで更新するには、Wi-Fi 接続を使用してアプリを接続する必要があります。

USB ケーブルを使用して Apple デバイスをステレオに接続し、ステレオのソフトウェアを更新できます。

対応する Apple デバイスまたは Android デバイスの Fusion-Link リモコンアプリの詳細については、Apple App StoreSM または Google PlayTM ストアにアクセスしてください。

FUSION-Link™ネットワーク技術

FUSION-Link ネットワーク技術により、船舶の操舵室、航法橋、またはナビゲーションステーションに設置された、対応多機能ディスプレイで、対応する Fusion エンターテインメントシステムを完全操作できます。エンターテインメントコントロールは統合され、すっきりしたコンソールが実現します。

接続されたステレオが船舶のどこに設置されていても、パートナーの多機能ディスプレイをポータルとして、船舶上のすべてのオーディオを操作できます。スペースが問題になっていてユーザーがステレオにアクセスするのはリムーバブルメディアを交換するためだけであれば、FUSION-Link 対応ステレオを目立たない場所に設置できます。

このデバイスの FUSION-Link 技術は、イーサネットや Wi-Fi ワイヤレス技術など、業界標準の既存のネットワーク接続を使用して通信できます。

このデバイスで提供される FUSION-Link 技術は、既存の業界標準 NMEA 2000 ネットワークを使用して通信できます。

NMEA 2000 リモコンおよびディスプレイ

ステレオは、船舶全体のオーディオゾーンに設置された、対応する Fusion 有線リモコンで操作できます。エンターテインメントシステムをリモコンから操作するのは、メインステレオから操作するのと同じことです。

Fusion 有線リモコンは既存の NMEA 2000 ネットワーク上で動作するため、リモコンをステレオに直接配線する必要はありません。ステレオと同じ NMEA 2000 ネットワークに接続されているすべてのリモコンで、ステレオを操作できます。

船舶に NMEA 2000 ネットワークがない場合は、1 台の Fusion リモコンを直接接続するか、Fusion リモコンネットワークを作成して、複数の Fusion 有線リモコンをステレオの NMEA 2000 コネクタに直接接続できます。詳細については、ステレオとリモートに付属のインストールガイドを参照してください。

1 台の Fusion リモコンを直接接続するか、Fusion リモコンネットワークを作成して、複数の Fusion 有線リモコンをステレオの NMEA 2000 コネクタに直接接続できます。詳細については、ステレオとリモートに付属のインストールガイドを参照してください。

Fusion 有線リモコンは、NMEA®ディスプレイとして使って、既存の NMEA ネットワーク上の他の NMEA デバイスから NMEA 2000 ナビゲーションデータまたは船舶の性能データを表示することもできます。サポートされている NMEA 2000 PGN 情報については、リモコンに付属の説明書を参照してください。

オプションの有線 NRX リモートコントロールの設定

注記

ステレオはデフォルトで NMEA 2000 ネットワークで動作するように設定されており、オプションの有線 NRX リモートコントロールが直接ステレオに接続されている場合にのみ、NRX 電源オプションを有効にする必要があります。ステレオが NMEA 2000 ネットワークに接続されているときにこのオプションを有効にすると、NMEA 2000 ネットワーク上の他のデバイスが損傷する可能性があります。

オプションの有線 NRX リモコンを NMEA 2000 ネットワーク経由ではなくステレオに直接接続した場合は、追加の設定が必要になります。

1  > **設定** > **電源オプション**の順に選択します。

2 次のの中からオプションを選択します。

- ステレオとオプションの有線リモコンの両方を NMEA 2000 ネットワークに接続している場合は、**NRX 電源**オプションが選択されていないことを確認します。これにより、オプションのリモコンが NMEA 2000 ネットワークから電力を取得することができます。
- オプションの有線リモコンを NMEA 2000 コネクタを介してステレオに直接接続した場合は、**NRX 電源**オプションを選択します。これにより、ステレオからオプションのリモコンに電力が供給されます。

NMEA 2000 の情報

NMEA 2000 は、船舶内のデータ通信で最も一般的な船舶規格です。船舶内でナビゲーションおよびエンジン管理のデータを送信するための規格となりました。Fusion は、オーディオリモートコントロールデバイスに NMEA 2000 機能を組み込むことで、業界初の製品を発表します。ユーザーは、接続されたリモコン上で、NMEA ネットワークを介して利用可能な一連の NMEA 2000 センテンスを監視できます。

付録

Fusion デバイスの登録

今すぐオンライン登録を完了していただければ、お客様へのサポートはさらに容易になります。

- garmin.com/account/register/を参照してください。
- 購入時のレシートの原本またはコピーは安全な場所に保管しておいてください。

デバイスのクリーニング

- 1 柔らかく清潔な糸くずの出ない布を真水で湿らせます。
- 2 デバイスを軽く拭きます。

ソフトウェア更新

最良の結果を得るには、定期的にすべての Fusion デバイスのソフトウェアを更新する必要があります。

互換性のある Fusion-Link デバイスまたは Apple デバイスの Android リモートコントロールアプリを使用するか、USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新できます。


USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新する

USB フラッシュドライブを使用してソフトウェアを更新できます。

注記

ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注：

- NTFS ファイルシステムを使用してフォーマットされている USB フラッシュドライブを使用し、ソフトウェアを更新することはできません。デバイスの更新中に問題が発生した場合は、FAT32 を使用して USB フラッシュドライブをフォーマットし、更新プロセスを再試行してください。
 - デバイスは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
 - 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。
- 1 support.garmin.com でお使いのデバイスのページにアクセスし、更新ファイルをダウンロードします。
 - 2 .zip ファイルの内容を USB ストレージデバイスのルートに解凍します。
ソフトウェア更新の内容は、Garmin という名前のフォルダに格納されています。
 - 3 USB ストレージデバイスをステレオの USB ポートに挿入します。
 - 4  > 設定の順に選択します。
 - 5 更新 > ステレオ > はいの順に選択します。

Fusion Link アプリを使用したソフトウェアの更新

ソフトウェアを更新するには、ワイヤレスルータまたはワイヤレスアクセスポイントを使用して Fusion-Link アプリをネットワークに接続する必要があります。Bluetooth 接続を使用してソフトウェアを更新することはできません。



注：更新するステレオがグループ内にある場合は、そのステレオをグループから削除する必要があります (グループから退出する, 23 ページ)。

Fusion PartyBus ネットワークにワイヤレスルータまたはワイヤレスアクセスポイントがある場合は、Fusion-Link アプリを使用してステレオのソフトウェアを更新できます。互換性のある Apple または Android 用のアプリは Apple App Store または Google Play ストアで入手できます。

注記


ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注：

- ・ デバイスは、ソフトウェアの更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- ・ 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。
- 1 モバイルデバイスを、Fusion PartyBus ネットワーク上のワイヤレスルータまたはワイヤレスアクセスポイントに接続します。
- 2 Fusion-Link アプリを開き、アプリにステレオが表示されることを確認します。
- 3 Fusion PartyBus ネットワークがインターネットに接続されていない場合は、ワイヤレスルータまたはアクセスポイントからモバイルデバイスの接続を解除します。
- 4 Fusion-Link アプリで、 > **更新を確認**の順に選択します。
- 5 ステレオを選択します。
- 6 **ダウンロード**を選択します。
アプリがソフトウェア更新ファイルをダウンロードします。
- 7 Fusion PartyBus ネットワークがインターネットに接続されていない場合は、アプリが更新ファイルのダウンロードを完了した後に、モバイルデバイスを Fusion PartyBus ネットワーク上のワイヤレスルータまたはアクセスポイントに再接続します。
- 8 Fusion-Link アプリで、ステレオに再接続します。
- 9  > **一般** > **ソフトウェアアップデートの** > **オンラインソフトウェア更新**の順に選択します。
アプリはソフトウェア更新を Wi-Fi ネットワーク経由でステレオに転送し、ステレオはソフトウェアを更新してから再起動します。

トラブルシューティング

キーを押してもステレオが反応しない

- ・ ステレオがオフになるまで  を押し続け、もう一度オンにしてステレオをリセットします。
- ・ ステレオの電源を 2 分間切断して、ステレオをリセットします。

Bluetooth オーディオがわずかな時間中断する

- ・ メディアプレーヤーが何かで覆われたり遮られないようにしてください。
Bluetooth 技術は、見通しが利く範囲で最適に動作します。
- ・ メディアプレーヤーをステレオから 10 m (33 ft.) 内に置きます。
- ・ **検出可能設定**は、Bluetooth デバイスとステレオのペアリング後にオフにしてください。
- ・ Wi-Fi 信号が Bluetooth デバイスの接続に干渉する可能性があります。ステレオを使用していない場合は、ステレオの Wi-Fi 設定をオフにする必要があります。

Bluetooth ソースの曲情報のうちステレオに表示されないものがある

曲のタイトル、アーティスト名、トラックの再生時間、アルバムのカバーアートワークなどの曲情報が表示されるかどうかは、メディアプレーヤーと音楽アプリケーションの機能によって異なります。

ネットワークのトラブルシューティング

ネットワーク上の Fusion PartyBus デバイスが表示されないか、または接続できない場合は、次の手順を実行します。

- すべての Fusion PartyBus デバイス、ネットワークスイッチ、ルーター、ワイヤレスアクセスポイントがネットワークに接続され、オンになっていることを確認します。
- ワイヤレス Fusion PartyBus デバイスがネットワーク上のワイヤレスルーターまたはワイヤレスアクセスポイントに接続されていることを確認します。

注：有線接続はワイヤレス接続よりも信頼性が高くなります。可能な場合は、イーサネットケーブルを使用してデバイスをネットワークに接続する必要があります。

- 1 台のデバイス (ステレオまたはルーター) のみが DHCP サーバーとして設定されていることを確認します。
- ルーターまたはワイヤレスアクセスポイントのチャンネルを変更し、干渉をテストして修正します。
近くに多数のワイヤレスアクセスポイントがある場合、無線の干渉が発生する可能性があります。

- Bluetooth デバイスを取り外して、干渉をテストし、修正します。
ワイヤレスアクセスポイントまたはクライアントとして設定されたステレオに Bluetooth デバイスを接続すると、ワイヤレスのパフォーマンスが低下する場合があります。







- 接続に問題がある場合は、お使いのルーターが 2.4 GHz 帯を使用した接続に対応していることを確認してください。

無線ルーターに接続する場合、本機は 2.4GHz 帯を使用した接続のみに対応します。5GHz 帯では接続できません。

- 静的 IP アドレスを設定した場合は、すべてのデバイスが固有の IP アドレスを持っていること、IP アドレスの最初の 3 つの数字のセットが一致していること、および各デバイスのサブネットマスクが同一であることを確認します。
- ネットワークの問題の原因となる可能性がある設定変更を行った場合は、すべてのネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

ネットワークステータスのアイコン

ステレオの一部の画面には、ネットワークステータスアイコンが表示されます。次の表を参照してアイコンの外観を把握し、Fusion PartyBus ネットワークの問題の診断に役立ててください。

	ステレオが有線ネットワーク接続用に設定されており、イーサネットケーブルを使用して有線ネットワークに接続されています。
	ステレオが有線ネットワーク接続用に設定されていますが、有線ネットワークを検出できません。イーサネットケーブルが接続されていないか、ネットワークに他の問題がある可能性があります。
	ステレオは Wi-Fi アクセサリ構成 (WAC) モードになっており、Apple デバイスに簡単に接続できます。
	ステレオがワイヤレスアクセスポイントとして設定されています。
	ステレオがワイヤレスクライアントとして設定されており、ワイヤレスアクセスポイントに接続されています。バーの数は信号強度を示します。
	ステレオがワイヤレスクライアントとして設定されていますが、ワイヤレスアクセスポイントに接続されていません。接続設定またはワイヤレスアクセスポイントに問題がある可能性があります。

ステレオは Apple デバイスに接続したときロックされたままになる

- 電源ボタンを長押ししてステレオをリセットします。
- Apple デバイスをリセットします。詳細については、www.apple.com を参照してください。
- Apple デバイスに最新バージョンの iTunes® と最新のオペレーティングソフトウェアがインストールされていることを確認します。

接続されている Apple デバイスをステレオが見つけれない

- ご使用の Apple デバイスが iAP2 (Interface Accessory Protocol 2) に対応していることを確認します。このステレオは、iAP1 デバイスに対応していません。
- iTunes デバイスに最新バージョンの Apple と最新のオペレーティングソフトウェアがインストールされていることを確認します。
- Fusion-Link デバイスに Apple アプリケーションの最新バージョンがインストールされていることを確認します。
- Apple デバイスをリセットします。
詳細については、apple.com を参照してください。
- Fusion 販売店に問い合わせるか、support.garmin.com にアクセスしてください。

Apple AirPlay オーディオがわずかな時間中断する

- Apple デバイスが何かで覆われたり遮られていないことを確認してください。
- Apple デバイスがステレオと同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。
- Apple デバイスが Bluetooth 技術と Wi-Fi を使用してステレオに接続されていないことを確認します。
Bluetooth と Wi-Fi 接続の両方を使用すると、再生が中断される場合があります。

仕様

一般

重量	750 g (26.5 oz.)
耐水性	IEC 60529 IPX7 (ステレオの前面のみ、適切に取り付けられている場合)
動作温度範囲	0 ~ 50°C (32 ~ 122°F)
保管温度範囲	-20 ~ 70°C (-4 ~ 158°F)
入力電圧	DC 10.8 ~ 16 V
電流 (最大)	15 A
電流 (ミュート)	900 mA 未満
電流 (オフ時)	200 mA 未満
ヒューズ	15A ミニブレードタイプ
NMEA 2000LEN @ DC 9 V	1 (50 mA)
Bluetooth ワイヤレス接続範囲	最大 10 m (30 ft.)
ANT ワイヤレス接続範囲	最大 3 m (10 ft.)
無線周波数およびプロトコル	Wi-Fi 2.4 GHz @ +15 dBm 定格 Bluetooth 2.4 GHz @ +10 dBm 定格 ANT 2.4 GHz @ +4 dBm 定格
コンパス安全距離	15 cm (5.9 in.)

オンボード、クラスDアンプ

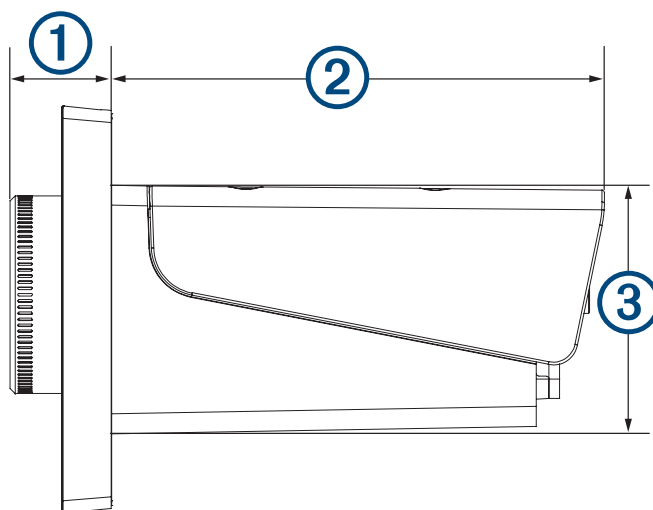
チャンネルごとの音楽出力	最大 4 x 70 W、2 Ω
合計出力ピークパワー	最大 280 W
チャンネルごとの出力電力 ²	4 x 43 W RMS (DC 14.4 V 入力時)、2 Ω、10% THD 4 x 26 W RMS (DC 14.4 V 入力時)、4 Ω、10% THD
ライン出力レベル (最大)	5.5 V (ピークツーピーク)
AUX 入力レベル (標準)	1 V RMS

チューナー周波数

チューニング	ヨーロッパおよびオーストラリア	USA	日本
FM ラジオ周波数範囲	87.5 ~ 108 MHz	87.5 ~ 107.9 MHz	76 ~ 95 MHz
FM 周波数ステップ	50 kHz	200 kHz	50 kHz
AM ラジオ周波数範囲	522 ~ 1620 kHz	530 ~ 1710 kHz	522 ~ 1620 kHz
AM 周波数ステップ	9 kHz	10 kHz	9 kHz

ステレオ寸法図面

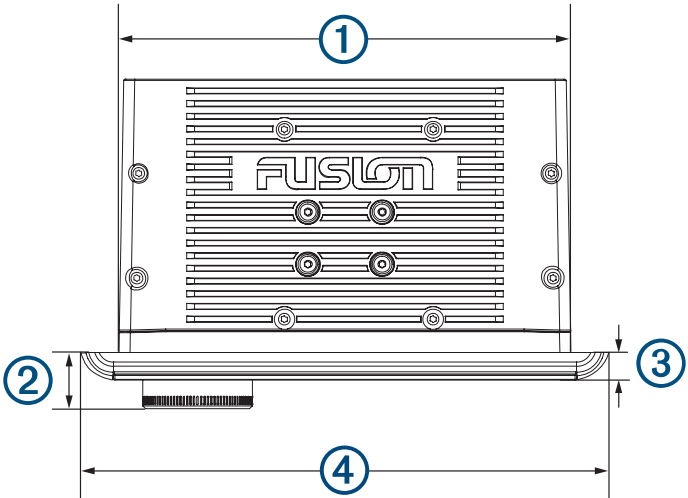
側面寸法



①	20.4 mm (0.8 in.)
②	99 mm (3.9 in.)
③	50 mm (1.97 in.)

² ステレオは、アンプの過熱を防ぎ、オーディオダイナミクスを維持するために出力を制限することがあります。

上部寸法



①	164 mm (6.5 in.)
②	20.4 mm (0.8 in.)
③	10 mm (0.39 in.)
④	192 mm (7.56 in.)

